

BRODIAEA safeAttach

グループ管理マニュアル

●ご注意

- 本マニュアルに記載されている内容の一部、またはすべてを無断で転載したり、複製することはできません。
- 本マニュアルの内容は、ソフトウェアの改良によって将来予告なく変更されることがあります。
- 本マニュアルの内容につきましては、万全を期して作成しておりますが、万一、わかり難い点や記載漏れ、誤記などがございましたらご連絡ください。
- 本マニュアルの掲載画面とご使用の製品画面とは、一部異なる場合があります。

Copyright© 2006-2022 Orangesoft Inc. All rights reserved.

●商標

- Microsoft、Outlook またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mozilla Firefox は米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google Chrome は Google Inc. が所有する商標または登録商標です。

■目次

概要

本マニュアルについて.....	4
表記規則	5
処理の流れ.....	6
パスワード付き ZIP 形式について.....	7

グループ管理メニュー

ログイン/ログアウト.....	8
ログイン	8
ログアウト	9
パスワード変更について	10
グループ管理メニューについて.....	11
設定反映について	13
メール処理情報.....	14
メール情報検索.....	14
レポート検索	16
レポート統計	19
送受信ランキング	21
アーカイブダウンロード	22
ルール	24
ルール	24
ブロックルール	28
保留ルール.....	30
添付ファイル保護ルール.....	33
BCC 化ルール	42
テストルール	44
システムルール	45
ルールの条件	46
ルール判定と処理について(補足).....	52

目次

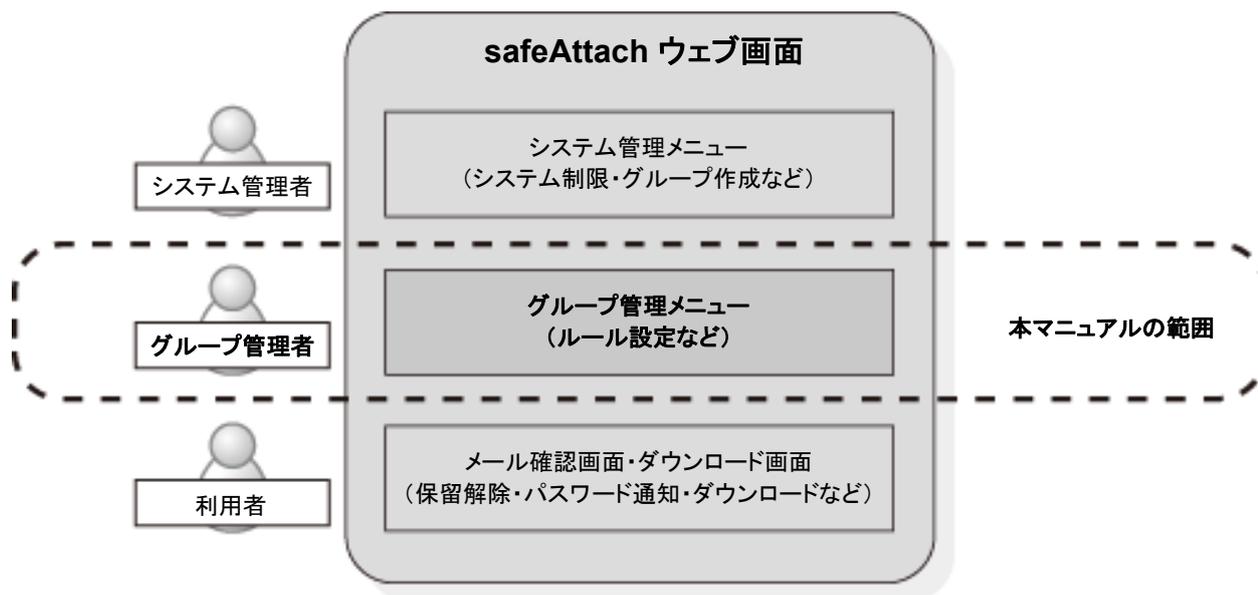
条件の判定方法と評価対象について(補足)	53
複数の送信先に対する動作について(補足)	55
本文コメント.....	56
エクスポート	59
設定.....	61
ルールオプション	61
メール処理通知.....	65
保留オプション	69
暗号オプション	75
ダウンロードオプション.....	79
パスワード	82
パスワード通知	86
除外ファイルタイプ	88
アクセス制限.....	92
レポートオプション	94
ユーザーオプション.....	95
管理.....	97
ユーザー.....	97

概要

ここでは、BRODIAEA safeAttach を扱う上で知っておくべき事柄について解説します。

本マニュアルについて

本マニュアルでは、BRODIAEA safeAttach (以下、本製品) のグループの管理者を対象とし、メールやルール処理の流れ、またグループの管理者がルール作成や設定、運用の管理を行う「グループ管理メニュー」について記載しています。



はじめに、本製品ではメール運用の管理範囲(ドメインや組織、部署など)のことを「グループ」、またグループの管理者のことを「グループ管理者」と呼びます。

「グループ管理メニュー」とは、本製品が主にグループ管理者用に提供している管理メニューで、ブラウザで設定・操作ができます。

グループ管理メニューの主要機能としてブロック、保留、暗号化、ダウンロード URL 化、BCC 化といった機能があります。これらの機能を使用することで、To や Cc に指定されたメールアドレスが多い場合にはメールをブロックまたは BCC 化して送信する、社外宛のメールについては一旦保留する、添付ファイルは暗号化もしくはダウンロード URL 化して送信するなどといった運用を実現できます。

以下のブラウザでのご利用を推奨しています。

推奨ブラウザ
Microsoft Edge (最新版)
Mozilla Firefox (最新版)
Google Chrome (最新版)

表記規則

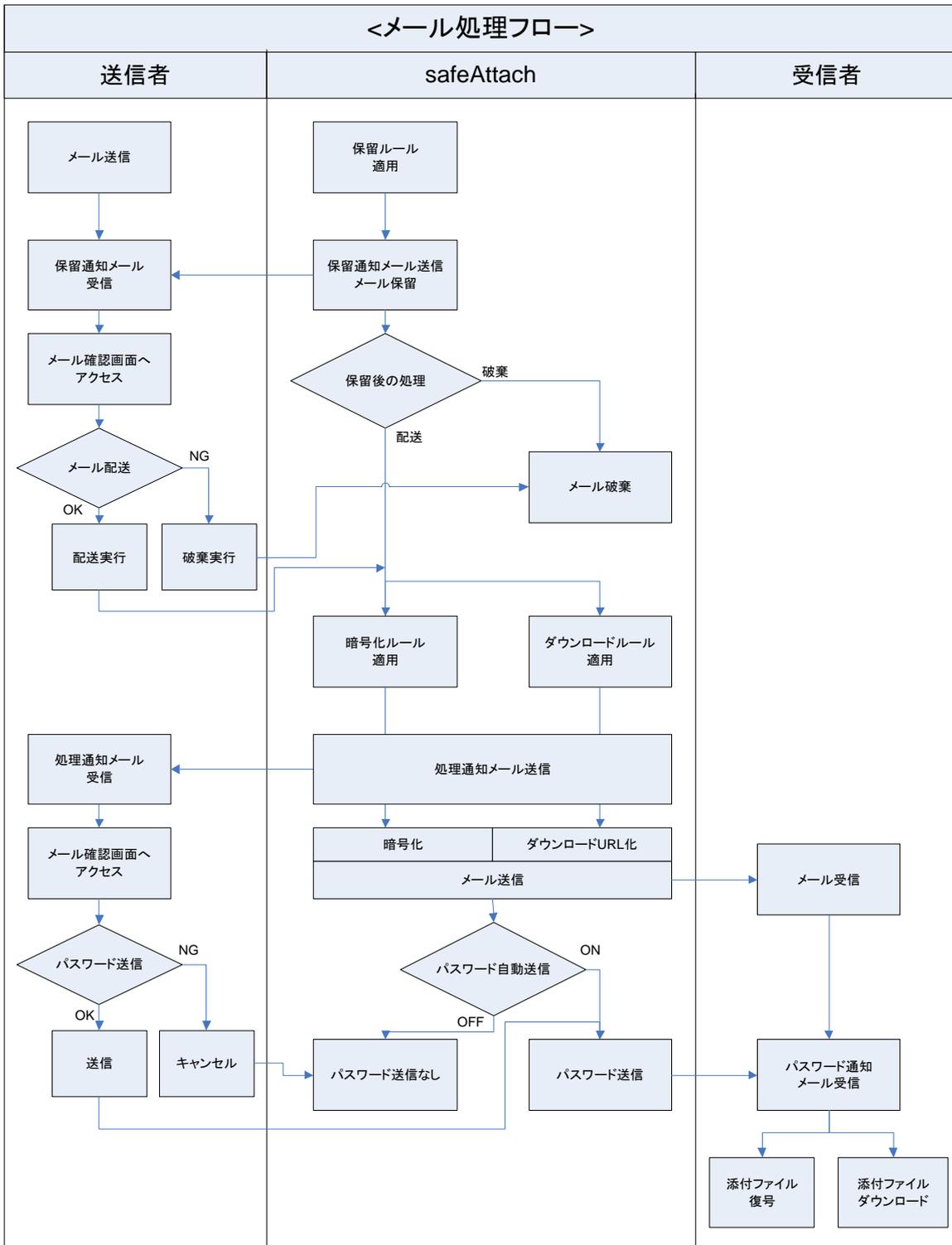
本マニュアルは、以下の規則にしたがって表記しています。

- ・ 画面タイトル名、メニュー名および項目名は、[]で囲んでいます。
- ・ ボタン名およびリンク名は、<>で囲んでいます。
- ・ 押さえておきたい内容を「POINT」として記述しています。
- ・ 注意が必要な内容を「CAUTION」として記述しています。

概要

処理の流れ

本製品で保留や添付ファイル保護(暗号化・ダウンロード URL 化)を行った場合、添付ファイルを含む電子メールの送受信は、以下のように処理されます。



パスワード付き ZIP 形式について

本製品は、暗号化にパスワード付き ZIP 形式 (Traditional ZIP) を採用しています。ZIP 形式は主に海外で広く普及している圧縮形式で、Windows は元より Mac OS でも ZIP 形式ファイル进行操作するためのツールが数多く公開されています。

Windows XP 以降の OS はパスワード付き ZIP 形式をサポートしており、OS 標準機能で解凍が可能です。

またオプションとして AES 暗号 (AE-2 256bit) にも対応しており暗号強度を高めることも可能です。AES で暗号化された ZIP 形式ファイルの解凍には、AES 暗号をサポートしたツールが必要になりますのでご注意ください (Windows 標準の機能ではサポートされていません)。

ZIP 形式の解凍をサポートしていない OS で ZIP 形式ファイルを扱う場合、また、AES 暗号を利用した ZIP 形式ファイルを扱う場合には、それぞれに対応した圧縮・解凍ツールが必要になります。以下のツールは、標準および AES 暗号を利用した ZIP 形式に対応しています。

●Windows 対応

「WinZIP」株式会社コーレル <http://www.corel.jp/>

「SecureZIP」エクセルソフト株式会社 <http://www.xlsoft.com/jp/>

●Mac OS 対応

「Stuffit Expander」株式会社アクト・ツー <http://www.act2.com/>

グループ管理メニュー

ここでは、本製品のグループ管理メニューの利用方法について解説します。

ログイン／ログアウト

ログイン

グループ管理メニューへのログインを行うには、ブラウザから

`https://<本製品のサーバー名>/sa/g/<グループ識別子>/`または
`http://<本製品のサーバー名>/sa/g/<グループ識別子>/`

にアクセスしてください。サーバー名が `sa.orangesoft.co.jp` でグループ識別子が `200a` ならば、

`https://sa.orangesoft.co.jp/sa/g/200a/`または `http://sa.orangesoft.co.jp/sa/g/200a/`

となります。それぞれのグループの URL はシステム管理画面のグループ設定で確認してください。

サーバーにアクセスすると、ログイン画面が表示されます。

ログインするには、まず画面表示の言語を選択します。次に①[ID]にはアカウント(メールアドレス)を、②[パスワード]にはアカウントに対応したパスワードを入力し、③<ログイン>ボタンをクリックします。

ログイン画面

POINT

本製品の初期出荷状態では、次の URL でデフォルトのグループにアクセスすることができます。

`https://<本製品のサーバー名>/sa/`または
`http://<本製品のサーバー名>/sa/`

POINT

本製品のログイン時にサーバーの URL として `https://` を利用した場合、グループ管理メニューにアクセスすると警告ページが表示されます。ログイン画面を表示するには、[このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)。]をクリックしてください。

信頼できる機関から発行されたサーバー証明書を設定することで、警告は表示されなくなります。詳しくはシステム管理マニュアルの P.34「SSL サーバー証明書」を参照してください。

ログアウト



グループ管理メニューを終了するには、画面右上に表示されている<ログアウト>ボタンをクリックしてログアウトします。

<ログアウト>ボタンをクリックする

パスワード変更について

ログインに使用するパスワードの変更を行います。



画面右上に表示されている<パスワード変更>ボタンをクリックします。

グループ管理メニュー画面

パスワードを変更するには、①各項目に入力し、②<変更>ボタンをクリックします。

パスワードはマスク表示される

現在のパスワード	現在使用しているパスワードを入力します。
新しいパスワード	変更後のパスワードを 128 文字以内で入力します。
新しいパスワード(再入力)	再度、変更後のパスワードを入力します。

POINT

パスワードに使用できる文字は次のとおりです。

abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789._+&%

グループ管理メニューについて

グループ管理メニューに表示される左ペインの各項目をクリックすると、右ペインに設定項目画面が表示されます。



グループ管理メニュー画面

●メニュー項目

メール処理情報	
メール情報検索	保留や添付ファイル保護、BCC 化処理されたメールに関する情報の検索を行います。
レポート検索	グループのメール処理履歴を検索します。
レポート統計	メール処理の統計情報を表示します。
送受信ランキング	送信先および差出人の多いメールアドレスのランキングを表示します。
アーカイブダウンロード	アーカイブされたレポート情報をダウンロードします。
ルール	
ルール	ブロックや暗号化、ダウンロード URL 化、保留、BCC 化などのルールを閲覧や登録、編集します。
本文コメント	暗号化またはダウンロード URL 化処理されたメールの本文に挿入するコメントを登録、編集します。
設定	
ルールオプション	ルールの拡張処理やブロック通知メール内容に関する設定を行います。
メール処理通知	処理通知メール内容に関する設定を行います。
保留オプション	メール保留時の通知先共通設定や通知メール内容の設定などを行います。
暗号オプション	暗号化時の共通処理や動作に関する設定を行います。
ダウンロードオプション	ダウンロードの回数制限や期限のデフォルト値など、ダウンロードに関する設定を行います。
パスワード	パスワードに関するさまざまな設定を行います。
パスワード通知	パスワード通知メール内容に関する設定を行います。
除外ファイルタイプ	添付ファイル保護対象としないファイルに関する設定を行います。

グループ管理メニュー

アクセス制限	グループ管理メニュー、メール確認画面へのアクセス制限に関する設定を行います。
レポートオプション	レポート統計を定期的にメールで送信する設定を行います。
ユーザーオプション	ログインロック回数や期間、ロック通知メールに関する設定を行います。
管理	
ユーザー	「グループ管理者」や「利用者」の登録や削除、パスワード変更を行います。

CAUTION

次のメニュー項目は、保留機能が有効な場合のみ表示されます。

- 保留オプション

次のメニュー項目は、暗号化機能が有効な場合のみ表示されます。

- 暗号オプション

次のメニュー項目は、ダウンロード URL 化機能が有効な場合のみ表示されます。

- ダウンロードオプション

次のメニュー項目は、暗号化もしくはダウンロード URL 化機能が有効な場合のみ表示されます。

- 本文コメント
- パスワード
- パスワード通知
- 除外ファイルタイプ

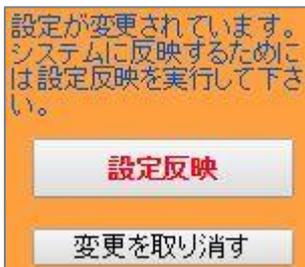
●表示・ボタン

グループ名	画面左上にログインしているグループ名を表示します。
設定反映	登録・変更したルールや設定を反映します。
ログイン ID	現在ログインしているログイン ID を表示します。
ログイン時刻	ログインした時刻を表示します。
パスワード変更	ログインユーザーのパスワード変更を行います。
ログアウト	グループ管理メニューよりログアウトします。

CAUTION

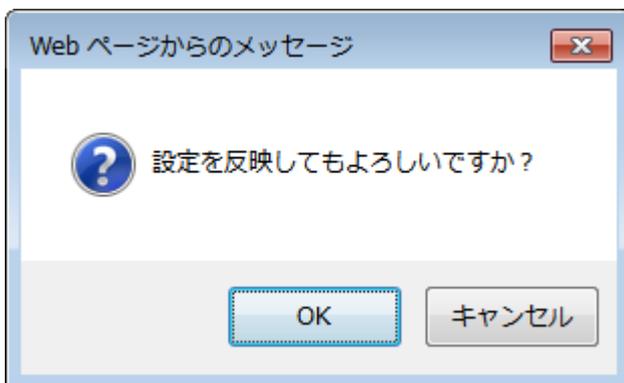
メニューの操作では、ブラウザの<戻る>ボタンは使わないでください。画面が正しく表示されません。

設定反映について

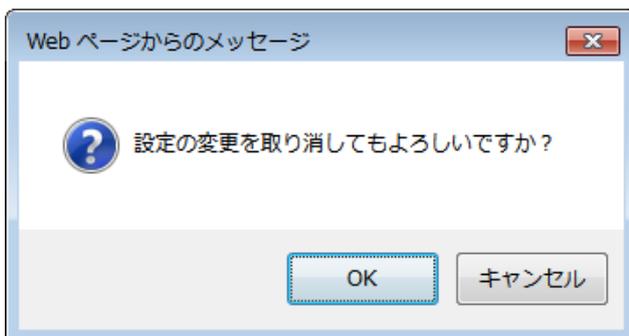


グループ管理メニューの中には、設定変更後に設定反映が必要な項目がいくつかあります。設定反映が必要になると、左ペインに警告が表示されるとともに<設定反映>ボタンがアクティブとなります。

また、設定を反映せずに取り消す<変更を取り消す>ボタンが表示されます。



<設定反映>ボタンをクリックすると、確認ダイアログボックスが表示されます。<OK>ボタンをクリックすると、設定内容がシステムに反映されます。

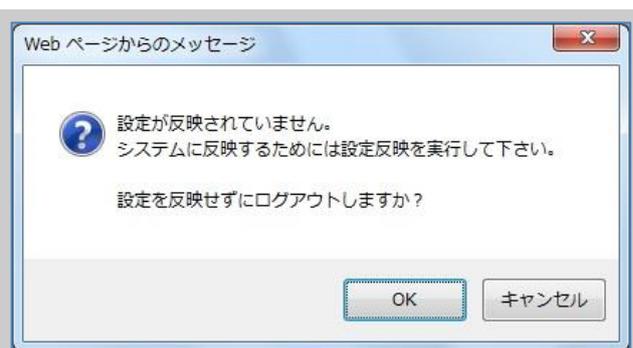


<変更を取り消す>ボタンをクリックすると、確認ダイアログボックスが表示されます。<OK>ボタンをクリックすると、設定反映前の変更内容が破棄されます。

CAUTION

設定が変更されているにも関わらず、<設定反映>ボタンをクリックしないままログアウトしようとすると、警告メッセージが表示されます。

設定を反映せずにログアウトした場合、変更した内容は実際の動作には反映されません。



メール処理情報

メール情報検索

保留・添付ファイル保護・BBC 化処理されたメール情報の履歴を表示します。期間や差出人、宛先、ファイル名などで検索し表示できます。

メール情報検索

Copyright(c) Orangessoft Inc. All rights reserved.

処理されたメール①の情報を検索します。 ③

② 検索

検索条件を指定して検索を実行して下さい。(MAX: 3000)

[メール情報検索]画面

● メール情報を検索する

1

① 検索対象にする条件にチェックを入れ、条件を入力します。

差出人	差出人のメールアドレスを指定します。初期値としてログインしたユーザーの電子メールアドレスが指定されています。	
日時	期間を指定できます。開始日時と終了日時を指定し、検索対象とする期間を指定します。	
サブジェクト	電子メールの件名を指定します。入力した文字列と部分一致する件名が検索対象となります。	
送信先	送信先の電子メールアドレスを指定できます。入力した文字列と部分一致する電子メールアドレスが検索対象となります。	
添付ファイル名	添付ファイル名を指定できます。入力した文字列と部分一致する添付ファイルが検索対象となります。	
ステータス	メールの状態を指定できます。	
	メール保留中	保留中のメールが検索対象になります。
	パスワード未送信	パスワード通知が未送信の状態のメールが検索対象になります。

- 2 条件を入力後、②<検索>ボタンをクリックすると検索が開始され、③送信したメールの日付、サブジェクト(件名)など検索結果一覧が表示されます。

日時	処理日時を表示します。
サブジェクト	電子メールの件名を表示します。
パスワード通知日時	パスワードが最終的に送信された日時を表示します。
操作	<表示>ボタンをクリックすると、メール確認画面が表示されます。

POINT

本機能で検索できる対象のメールは、保留、添付ファイル保護や BCC などの処理が行われたメールになります。ブロックやスルーされたメールについては、検索対象になりません。

● メール情報の詳細を閲覧する

1

日付	サブジェクト	操作
2011/09/21 18:05:33	safeAttachお見積もりについて	<input type="button" value="表示"/>
2011/09/21 17:41:23	TEST3	<input type="button" value="表示"/>
2011/09/21 17:41:09	TEST2	<input type="button" value="表示"/>
2011/09/21 17:41:04	TEST1	<input type="button" value="表示"/>

検索された履歴の詳細を見ることができます。検索結果一覧に表示される<表示>ボタンをクリックします。

<表示>ボタンをクリックする



[メール確認]画面が別ウィンドウで表示され、メールのヘッダー情報や本文、配送状況やその他暗号化状況などメールの情報を確認することができます。またメール配送やパスワード送信などの操作も可能です。画面表示や操作の詳細は「利用者マニュアル」をご確認ください。

メールの情報が表示される

レポート検索

メール処理のレポートを表示します。日時や差出人、宛先、処理などを条件として検索し表示できます。

[レポート検索]画面

POINT

<アーカイブダウンロード>ボタン①をクリックすると、[アーカイブダウンロード]画面が表示されます。(→ [アーカイブダウンロード]P.22)

レポートを検索する

1

②メール処理のレポートの検索は、[レポート検索]画面で行います。検索条件の各項目をチェック入れ、条件を入力します。

日時	期間を指定できます。開始日時と終了日時を指定し、検索対象とする期間を指定します。	
差出人	差出人の電子メールアドレスを指定できます。入力した文字列と部分一致する電子メールアドレスが検索対象となります。	
送信先	宛先の電子メールアドレスを指定できます。入力した文字列と部分一致する電子メールアドレスが検索対象となります。	
処理	処理の内容を指定できます。複数の指定が可能です。	
	暗号	暗号化処理を検索対象とします。
	ダウンロード	ダウンロード URL 処理を検索対象とします。
	BCC	BCC 化処理を検索対象とします。
	保留	保留処理を検索対象とします。
	保留後配送	保留後の配送処理を検索対象とします。
保留後破棄	保留後の破棄処理を検索対象とします。	

グループ管理メニュー

	ブロック	送信のブロック処理を検索対象とします。
	スルー	暗号化せず送信した処理を検索対象とします。
	処理エラー	エラーとなった処理を検索対象とします。
	テスト	テスト用でレポート記録した処理を検索対象とします。
メッセージサイズ	電子メールのサイズを指定できます。入力した数値以上のサイズが検索対象となります。	
添付ファイル名	添付ファイル名を指定できます。入力した文字列と部分一致する添付ファイルが検索対象となります。	
サブジェクト	電子メールの件名を指定できます。入力した文字列と部分一致する件名が検索対象となります。	

2

③ 検索条件を指定し、〈検索〉ボタンをクリックすると検索結果が表示されます。

日時	処理日時を表示します。	
処理	処理内容を表示します。	
	ENCRYPT	暗号化
	DOWNLOAD	ダウンロード URL 化
	BCC	BCC 化
	HOLD	保留
	DELIVER	保留後配送
	DISCARD	保留後破棄
	BLOCK	ブロック
	THROUGH	添付ファイル保護および BCC 処理無しで配送
	ERROR	処理エラー
	TEST	テスト
メール処理 ID	メール処理 ID を表示します。	
差出人	送信元のメールアドレスを表示します。	
送信先	送信先のメールアドレスを表示します。	
メッセージ ID	電子メールのメッセージ ID を表示します。	
サブジェクト	電子メールの件名を表示します。	
添付ファイル名	電子メールの添付ファイル名を表示します。 CAUTION ブロックおよびスルー処理の場合、表示されません。	
暗号化ファイル	暗号化後の ZIP ファイル名を表示します。	
暗号化ファイルの内容	暗号対象のファイルを表示します。	
ダウンロードファイル	ダウンロード対象のファイルを表示します。	
メールサイズ	電子メール全体のサイズを表示します。	
キューID	キューID を表示します。	
配送／破棄の決定者	保留解除(配送・破棄)を行ったユーザーのメールアドレスを表示します。(自動処理時には表示されません。)	
処理メッセージ	処理メッセージを表示します。	
操作	〈表示〉ボタンをクリックすると、メール確認画面が表示されます。	

CAUTION

次の項目は、保留機能が有効な場合に表示されます。

- ・検索条件:「処理」-「保留」
- ・検索条件:「処理」-「保留後配送」
- ・検索条件:「処理」-「保留後破棄」

次の項目は、暗号化機能が有効な場合に表示されます。

- ・検索条件:「処理」-「暗号」
- ・検索結果:「暗号化ファイル」
- ・検索結果:「暗号化ファイルの内容」

次の項目は、ダウンロード URL 機能が有効な場合に表示されます。

- ・検索条件:「処理」-「ダウンロード」
- ・検索結果:「暗号化ファイルの内容」

次の項目は、BCC 化機能が有効な場合に表示されます。

- ・検索条件:「処理」-「BCC」

● レポートをダウンロードする

1

日時	処理	メール処理ID	差出人	送信先
2016/05/30 15:20:14	DOWNLOAD DELIVER	00000018	aotest01@orangesoft.intra	aotest02@o
2016/05/30 15:19:55	TEST	00000018	aotest01@orangesoft.intra	aotest02@o
2016/05/30 15:19:55	HOLD	00000018	aotest01@orangesoft.intra	aotest02@o
2016/05/30 15:16:39	DOWNLOAD DELIVER	00000017	aotest01@orangesoft.intra	aotest02@o
2016/05/30 15:15:35	TEST	00000017	aotest01@orangesoft.intra	aotest02@o
2016/05/30 15:15:35	HOLD	00000017	aotest01@orangesoft.intra	aotest02@o
2016/05/30 14:31:38	TEST	00000016	aotest01@orangesoft.intra	aotest02@o
2016/05/30 14:31:38	DOWNLOAD	00000016	aotest01@orangesoft.intra	aotest02@o
2016/05/30 13:08:32	THROUGH	00000015	aotest01@orangesoft.intra	aotest01@o
2016/05/30 13:08:23	THROUGH	00000014	aotest01@orangesoft.intra	aotest02@o
2016/05/30 13:07:45	TEST	00000013	aotest01@orangesoft.intra	aotest02@o

33 件中 29 件の処理情報が見つかりました。

1 ページ目 前へ 次へ

結果をファイルでダウンロード

④ 検索結果は CSV 形式ファイルとしてダウンロードできます。検索結果が表示された状態で、<結果をファイルでダウンロード> ボタンをクリックします。

2

[ファイルのダウンロード]ダイアログボックスが表示されます。<保存>ボタンをクリックして、ファイルを保存してください。

POINT

ダウンロードしたファイルの文字コードは UTF-8 (BOM 無し)です。

CAUTION

次の項目は暗号化機能が有効な場合のみデータ項目に含まれます。

- ・「暗号化ファイル」
- ・「暗号化ファイルの内容」

次の項目はダウンロード URL 機能が有効な場合のみデータ項目に含まれます。

- ・「ダウンロードファイル」

レポート統計

日別、週別、月別に、メールの総受信数やメールサイズの統計を一覧表とグラフで表示します。

左ペインからメニューを選択すると、その時点で最新のレポートが表示されます。[日別][週別][月別]の各タブメニューをクリックし、それぞれの範囲ごとに表示される期間をクリックすると、対応した期間の統計が表示されます。集計処理は毎日午前 3 時に実施されます。

●一覧表

受信数	受信したメールの数	
送信数	送信したメールの数	
ブロック数	ブロックおよび保留後破棄されたメールの数	
エラー数	エラー処理されたメールの数	
送信メール適用動作	保留	保留したメールの数
	破棄	保留後に破棄されたメールの数
	暗号化	暗号化したメールの数
	ダウンロード	ダウンロード URL 化したメールの数
	BCC 化	BCC 化したメールの数
	スルー	処理を行わなかったメールの数
パスワード未通知数	パスワードを通知しなかった件数	
受信メールサイズ	平均	受信したメールの平均サイズ(KB)
	最大	受信したメールの最大サイズ(KB)

POINT

保留後の配送件数は、(保留件数) - (破棄件数)で算出できます。

CAUTION

レポートの統計期間は、最大 2 年間です。2 年を超えたデータは破棄されます。

●グラフ

メール送受信数	メールの送受信数をグラフ表示します。
送信メール適用動作	ルールの適用動作数をグラフ表示します。
パスワード未通知数	パスワードを通知しなかった件数をグラフ表示します。
受信メールサイズ(平均)	受信したメールの平均サイズをグラフ表示します。
受信メールサイズ(最大)	受信したメールの最大サイズをグラフ表示します。

CAUTION

次の項目は保留機能が有効な場合に表示されます。

・表/グラフ:「保留」

次の項目は暗号化機能が有効な場合に表示されます。

・表/グラフ:「暗号化」

次の項目はダウンロード URL 機能が有効な場合に表示されます。

グループ管理メニュー

・表/グラフ:「ダウンロード」

次の項目は暗号化もしくはダウンロード URL 機能が有効な場合に表示されます。

・表/グラフ:「パスワード未通知数」

次の項目は BCC 化機能が有効な場合に表示されます。

・表/グラフ:「BCC 化」

POINT

各タブメニューで表示される<全ての「日別」データをダウンロード><全ての「週別」データをダウンロード><全ての「月別」データのダウンロード>ボタンをクリックすると、それぞれのタブに対応した統計データを CSV ファイルとしてダウンロード、保存できます。保存したデータは、表計算ソフトで読み込み利用できます。例えば、<全ての「月別」データのダウンロード>ボタンをクリックしてダウンロードしたデータには、最大 2 年間分の 1 ヶ月ごとの統計データが記録されています。

送受信ランキング

差出人と送信先のメールアドレスを多い順に 20 件まで一覧表示します。

左ペインからメニューを選択すると、当日のランキングが表示されます。[日別][週別][月別]の各タブメニューをクリックし、それぞれの範囲ごとに表示される期間をクリックすると、対応した期間のランキングが表示されます。集計処理はデフォルトで毎日午前 3 時に実施されます。

送受信ランキング											
Copyright(c) 2006-2010 Orangesoft Inc. All rights reserved											
差出人と送信先のメールアドレスを多い順にランキング表示します。											
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日別 週別 月別 </div>											
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 2008年 2009年 2010年 </div>											
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 </div>											
差出人				送信先							
順位	メールアドレス	通数	割合	順位	メールアドレス	通数	割合	順位	メールアドレス	通数	割合
1	sender0187@orangesoft.co.jp	199	32.84%	1	recipient0404@orangesoft.co.jp	192	14.21%				
2	sender0966@orangesoft.co.jp	185	30.53%	2	recipient0306@orangesoft.co.jp	143	10.58%				
3	sender0144@orangesoft.co.jp	84	13.86%	3	recipient0067@orangesoft.co.jp	109	8.07%				
4	sender0393@orangesoft.co.jp	31	5.12%	4	recipient0137@orangesoft.co.jp	104	7.70%				
5	sender0029@orangesoft.co.jp	24	3.96%	5	recipient0002@orangesoft.co.jp	48	3.55%				
6	sender0526@orangesoft.co.jp	22	3.63%	6	recipient0138@orangesoft.co.jp	31	2.29%				
6	sender0636@orangesoft.co.jp	22	3.63%	6	recipient0776@orangesoft.co.jp	31	2.29%				
7	sender0488@orangesoft.co.jp	15	2.48%	7	recipient0183@orangesoft.co.jp	30	2.22%				
8	sender0606@orangesoft.co.jp	13	2.15%	8	recipient0973@orangesoft.co.jp	24	1.78%				
9	sender0025@orangesoft.co.jp	4	0.66%	9	recipient0019@orangesoft.co.jp	22	1.63%				
10	sender0590@orangesoft.co.jp	2	0.33%	9	recipient0133@orangesoft.co.jp	22	1.63%				
10	sender0683@orangesoft.co.jp	2	0.33%	10	recipient0110@orangesoft.co.jp	20	1.48%				
11	sender0013@orangesoft.co.jp	1	0.17%	11	recipient0470@orangesoft.co.jp	19	1.41%				
-	-	-	-	12	recipient0246@orangesoft.co.jp	17	1.26%				
-	-	-	-	12	recipient0425@orangesoft.co.jp	17	1.26%				
-	-	-	-	12	recipient0754@orangesoft.co.jp	17	1.26%				
-	-	-	-	12	recipient0917@orangesoft.co.jp	17	1.26%				
-	-	-	-	13	recipient0276@orangesoft.co.jp	14	1.04%				
-	-	-	-	14	recipient0119@orangesoft.co.jp	12	0.89%				
-	-	-	-	15	recipient0650@orangesoft.co.jp	9	0.67%				

CAUTION

ランキングの集計期間は、最大 2 年間です。2 年を超えるデータは破棄されます。

アーカイブダウンロード

グループごとのレポートの保存期間またはシステムの最大保存件数を越えたレポート(但し、メール保留中やダウンロード期限内のメールのレポート情報は期限が無効になるまで削除対象より除外されます。)は、20分ごとに実行される定期的なバックグラウンド処理でデータベースより削除され、アーカイブ(書庫)ファイルとして出力、保存されます。

アーカイブファイルは、[アーカイブダウンロード]画面の<ダウンロード>ボタンをクリックすることで、随時ダウンロードできます。

1

選択	ファイル名	サイズ(バイト)	最終更新日
<input type="radio"/>	201009_1.zip	776	2010/09/20 17:46:50
<input type="radio"/>	201008_1.zip	30,762	2010/09/08 12:47:07
<input type="radio"/>	201007_1.zip	58,309	2010/08/12 15:26:49
<input type="radio"/>	201006_1.zip	17,674	2010/07/14 17:06:28
<input type="radio"/>	201005_1.zip	6,876	2010/06/09 19:38:24
<input type="radio"/>	201004_1.zip	4,117	2010/05/11 19:43:42
<input type="radio"/>	201003_1.zip	131,161	2010/04/14 17:43:42
<input type="radio"/>	201002_1.zip	429	2010/02/24 16:21:16

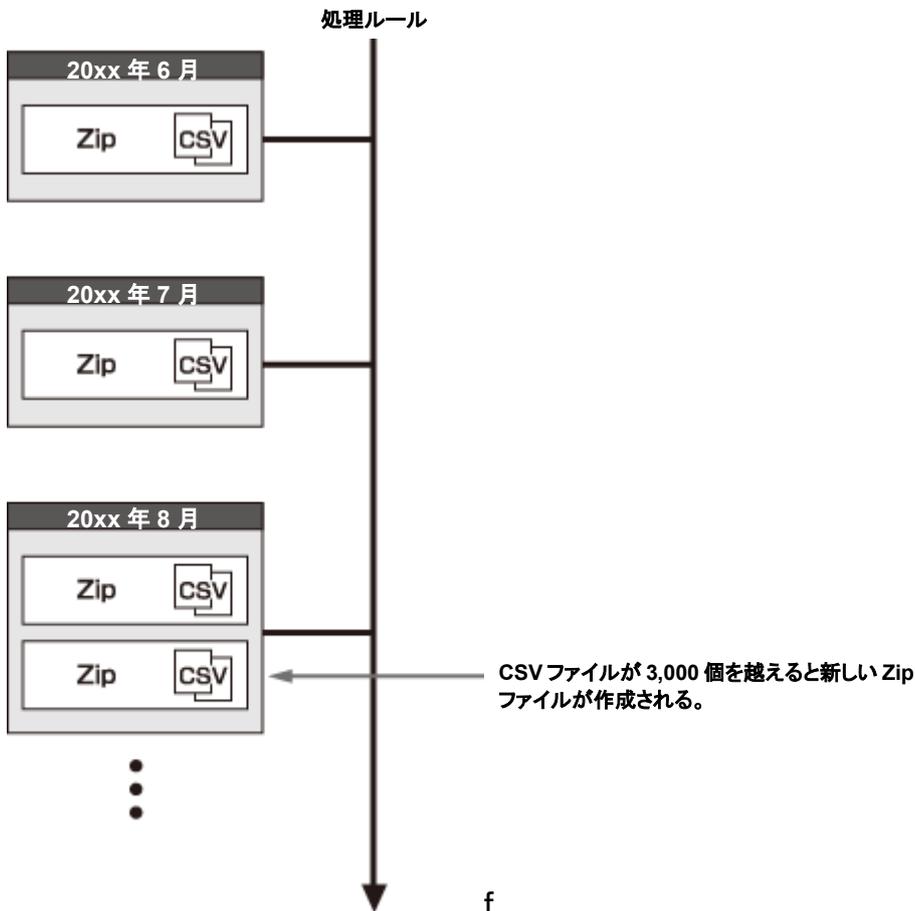
[メール処理レポート]に表示されたアーカイブファイルの中から、ダウンロードするファイルを選択し<ダウンロード>ボタンをクリックします。

[アーカイブダウンロード]画面

2 [ファイルのダウンロード]ダイアログボックスが表示されます。<保存>ボタンをクリックして、アーカイブファイルをクライアントに保存します。

● アーカイブファイルについて

アーカイブファイルは、ZIP 形式の圧縮ファイルです。基本的に 1 ヶ月ごとに 1 つのファイルとして保存されますが、1 ヶ月のレポートの CSV ファイルが 3,000 個を超える場合には、複数のファイルとなります。また、アーカイブファイルの保存数にもグループ単位で上限 (Appendix 参照) があり、この上限を超えた場合には古いアーカイブファイルから順次削除されます。



CAUTION

レポートのシステムでの最大保存件数およびグループで保存可能なアーカイブファイルの上限はご利用のモデルにより異なります。

ルール

ルール

ルールは、どのようなメールに対してどのような処理を適用するかを定義するものです。

機能(処理動作)ごとにタブ分けされた「ブロック」「保留」「添付ファイル保護」「BCC化」、またテスト用に条件判定のみを行う「テスト」、さらにはシステム組み込みのルールを定義した「システム」のタブに分かれています。



① ルールタブ

ブロック	ブロックあるいはスルーのルールを登録、表示します。
保留	保留ルールを登録、表示します。
添付ファイル保護	暗号化やダウンロード URL ルールを登録、表示します。
BCC化	BCC化ルールを登録、表示します。
テスト	テストルールを登録、表示します。
システム	システム組み込みのルールを表示します。

POINT

"CC"や"BCC"を含む複数宛先のメール(同報メール)を処理する場合、各タブメニューにおいて動作が異なります。[ブロック]、[保留]タブの動作は、同報メールの宛先すべてを包括して判断し処理します。一方、[添付ファイルが保護]、[BCC化]タブは、"それぞれ別々の宛先ごとにルールを適用し、動作することができます。複数宛先の処理については、P.55「複数の送信先に対する動作について(補足)」をご参照ください。それぞれのタブはグループにおける各機能が有効な場合に表示されます。

② ルールの作成、複製、削除

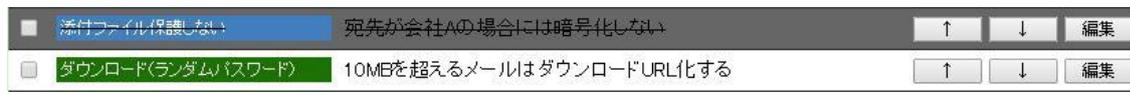
新規作成	ルールを新規作成します。
コピー	各ルールのチェックボックスを選択し(複数選択可)、選択したルールをコピーします。
削除	各ルールのチェックボックスを選択し(複数選択可)、選択したルールを削除します。

③ 各タブのルール内容

選択したタブのルールが表示されます。上位のルールより順番に評価されます。

POINT

無効となっているルールは、打ち消し線で表示名が消された状態で表示されます。

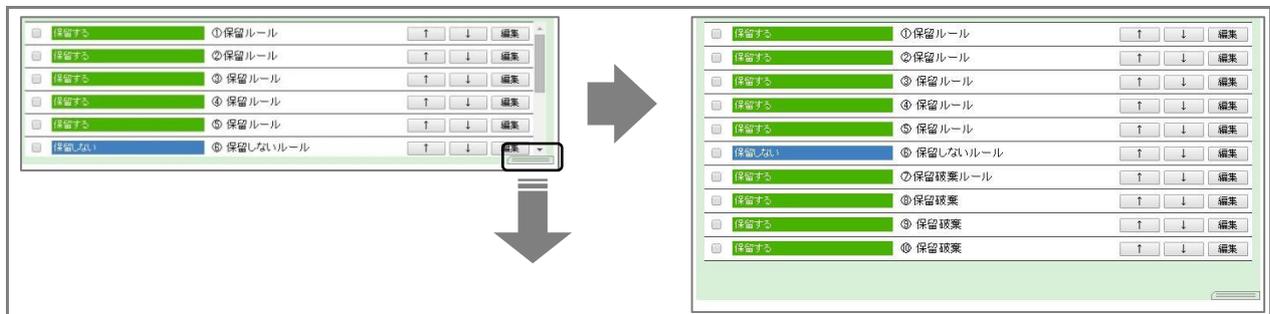


④ ルールの順番変更および編集

	クリックすると、ルールの順番を先頭へ移動します。
	クリックすると、ルールの順番を一つ上へ移動します。
	クリックすると、ルールの順番を一つ下へ移動します。
	クリックすると、ルールの順番を末尾へ移動します。
	ルールを指定した位置に移動します。クリックすると、移動先指定のダイアログが表示されますので、移動先の番号を入力し、<OK>をクリックします。
	ルールを編集します。クリックすると、[ルール編集]画面が表示されます。

⑤ ウィンドウの高さ変更

[resize]アイコンをドラッグすることで、タブメニューウィンドウの高さ変更ができます。

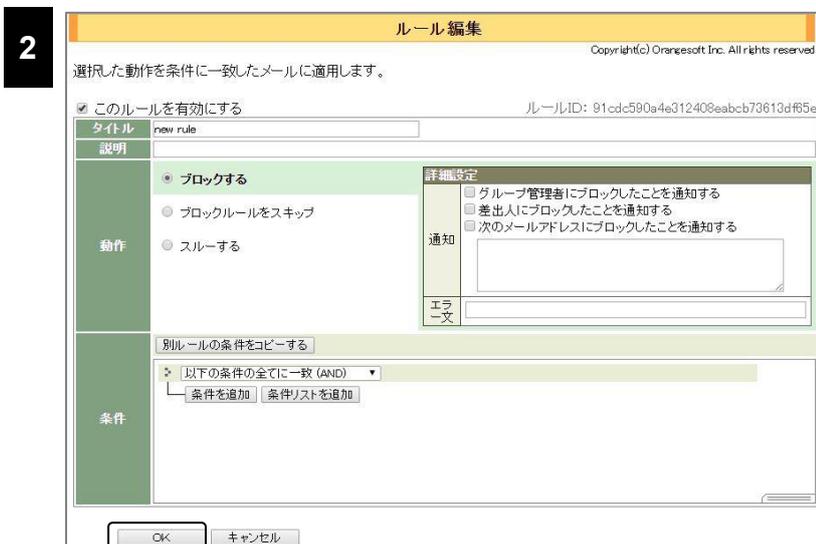


● ルールを登録する

新規にルールの登録(追加)を行います。



作成したい①ルールタブをクリックし、②<ルールの追加>ボタンをクリックします。



[ルール編集]画面が表示されます。各項目を設定し<OK>ボタンをクリックします。

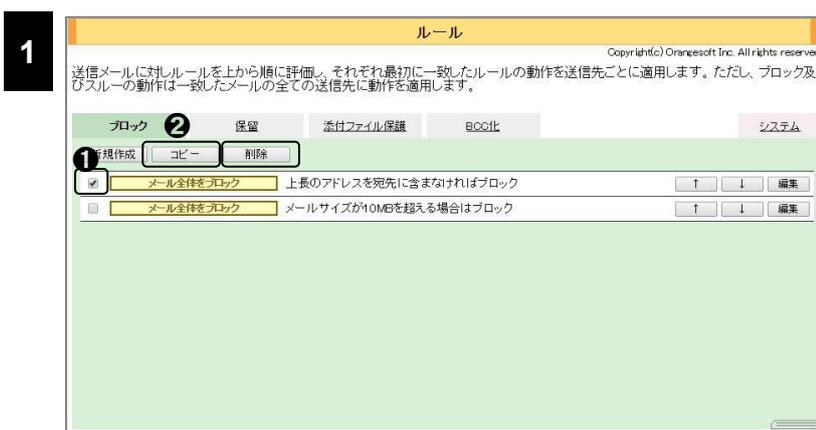
CAUTION

ルールを登録後、システムに設定を反映させる必要があります。設定反映については、「設定反映について」(P.13)をご覧ください。

POINT

各タブに登録できるルール数の上限は、システム上限 100 件もしくはグループ毎の指定件数の設定(1~100 件)によって決定されます。

● ルールをコピー・削除する



コピーまたは削除したい**①**ルールにチェックを入れ、**②**＜コピー＞ボタンまたは**②**＜削除＞ボタンをクリックします。



(コピーの場合)
同じルールタブの最下部ヘルパーがコピーされます。

CAUTION

ルールコピー後、システムに設定を反映させる必要があります。設定反映については、「設定反映について」(P.13)をご覧ください。

POINT

複数のルールを選択し、同時にコピーまたは削除することもできます。

ブロックルール

ブロックルールでは、特定のメールに対して、メールを受信拒否する「ブロックする」の動作とその他タブのルール判定をスキップし、配送する「スルーする」の動作を定義できます。本ルールでは、メールの全ての宛先に対し同じ動作が適用され、宛先ごとに動作を分けることはできません。

ブロックルール編集画面

このルールを有効にする	チェックを入れるとルールが有効になります。	
タイトル	ルールのタイトルを 50 文字以内で入力します。	
説明	ルール内容の説明を 256 文字以内で入力します。空欄のままでも登録できます。	
動作	ブロックする	条件に該当するメールを受信拒否します。
	ブロックルールをスキップする	ブロックルールタブのルールをスキップし、保留タブ以降のルール判定処理に移ります。
	スルーする	メールに対して何も処理を行わずそのまま配送します。
条件	動作を適用する条件を設定します。条件の内容については、「ルールの条件」(P.46)をご覧ください。	

● ブロックの詳細設定

動作に「ブロックする」を選択した場合に表示される詳細設定です。

通知	グループ管理者にブロックしたことを通知する	チェックを入れると登録しているグループ管理者すべてにブロック通知メールを送信します。
	差出人にブロックしたことを通知する	チェックを入れると差出人にブロック通知メールを送信します。

グループ管理メニュー

	次のメールアドレスにブロックしたことを通知する	入力欄にメールアドレスを指定しチェックを入れると指定したメールアドレス宛にブロック通知メールを送信します。メールアドレスを複数指定する場合には改行します。指定可能なメールアドレスの上限は 100 件となります。
エラー文	SMTP エラーのメッセージに任意の文字列を含めることができます。文字列は 100 文字以内の半角英数字、半角スペース、アンダーバー、ハイフン、ドットで指定します。	

POINT

ブロック時におけるエラーコード、エラーメッセージは以下になります。

◆エラー文が指定されていない

554 5.7.0 apply blocking rule.(1301)

◆エラー文(ERROR message)が指定されている場合

554 5.7.0 apply blocking rule.(1301) - ERROR message.

● スルーの詳細設定

詳細設定	
オプション	<input type="checkbox"/> 上長メールアドレスをBCCに追加しない

動作に「スルーする」を選択した場合に表示される詳細設定です。

オプション	チェックを入れると、ユーザーの機能で[上長メールアドレスを常時 BCC 追加]が有効な場合でも、BCC 追加しないようにすることができます。
-------	--

保留ルール

保留ルールでは、特定のメールに対して、即時配送せずにメールを一時的にシステムに保留する「保留する」の動作とその反対の「保留しない」の動作を定義できます。本ルールでは、メールの全ての宛先に対し同じ動作が適用され、宛先ごとに動作を分けることはできません。

保留ルール編集画面

このルールを有効にする	チェックを入れるとルールが有効になります。	
タイトル	ルールのタイトルを 50 文字以内で入力します。	
説明	ルール内容の説明を 256 文字以内で入力します。空欄のままでも登録できます。	
動作	保留する	条件に該当するメールを保留します。
	保留しない	条件に該当するメールは保留しません。
条件	動作を適用する条件を設定します。条件の内容については「ルールの条件」(P.46)をご覧ください。	

● 保留の詳細設定

動作に「保留する」を選択した場合に表示される詳細設定です。

グループ管理メニュー

保留時間	保留する時間を入力します。保留時間上限はご利用のモデルにより異なり、720分または4320分になります。	
保留後の処理	配送	選択すると保留する時間経過後、自動的に配送します。
	破棄	選択すると保留する時間経過後、自動的に破棄します。
通知	差出人へ保留したことを通知する	チェックを入れると差出人に保留通知メールを送信します。
	差出人へ配送／破棄したことを通知する	<p>チェックを入れると保留後の配送／破棄時に差出人へメール処理通知を送信します。</p> <p>POINT</p> <p>「配送」の通知は、保留解除後に全ての宛先が、添付ファイル保護、BCC化等の処理を行わずに配送された場合にのみ通知されます。</p>
	保留リマインドを送る	<p>チェックを入れると保留通知を送信した送信先へ保留リマインド通知を送信します。</p> <p>POINT</p> <p>保留リマインドは、保留解除まで[保留オプション]-[保留リマインド]の設定内容に従い、送信されます。但し、メール確認画面より配送や破棄の保留解除を行った場合、その時点で送信がキャンセルされます。</p>
第三者チェック	第三者宛保留解除通知を送る	<p>チェックを入れると、第三者宛に保留解除通知を送信します。</p> <p>POINT</p> <p>第三者宛保留解除通知は、[保留オプション]-[第三者宛保留解除通知メール]の設定内容で送信されます。</p> <p>保留解除通知が送信される宛先は保留通知を送信した第三者になります。保留通知が送信されていない場合、保留解除通知は送信されません。</p>
	「第三者チェック対象」に保留通知を送る	<p>チェックを入れると[第三者チェック対象]に保留通知メールを送信します。</p> <p>CAUTION</p> <p>予め[保留オプション設定]-[第三者チェック対象]の設定を行う必要があります。</p> <p>POINT</p> <p>[第三者チェック対象]に設定されているメールアドレスが送信メールヘッダーの送信先(To, Cc)に含まれる場合、該当メールアドレス宛に保留通知が送信されます。(送信者自身のメールアドレスは除く)</p>
	次のメールアドレスに保留通知を送る*1	入力欄にメールアドレスを指定しチェックを入れると指定したメールアドレス宛に保留通知メールを送信します。メールアドレスを複数指定する場合には改行します。指定できるアドレスの上限は100件までです。

グループ管理メニュー

	ユーザーの「上長メールアドレス」に保留通知を送る*2	<p>チェックを入れるとユーザーの[上長のメールアドレス]に保留通知メールを送信します。</p> <p>CAUTION</p> <p>予めユーザーの[上長メールアドレス]の定義および[上長メールアドレス]への保留通知送信機能が有効化されている必要があります。</p>
	<p>POINT</p> <p>送信者自身に第三者用の保留通知送信を行いたい場合、*1 もしくは*2 のオプションを利用します。</p>	

添付ファイル保護ルール

添付ファイル保護ルールでは、特定のメールに対して添付ファイルを ZIP 暗号化する「暗号化する」動作、添付ファイルを Web ダウンロード形式にする「ダウンロード URL にする」動作、また暗号化もダウンロード URL 化もしない「添付ファイル保護しない」動作を定義できます。本ルールでは、メールの宛先に対して別々の動作を適用することができます。

The screenshot shows the 'Rule Edit' window with the following sections:

- タイトル:** new rule
- 説明:** (empty)
- 動作:**
 - 暗号化する
 - ダウンロードURLにする
 - 添付ファイル保護しない
 - ブロックする (旧バージョン互換用)
 - スルーする (旧バージョン互換用)
- 詳細設定:**
 - パスワード:**
 - ランダムパスワード
 - 送信先ごとに違うパスワードを使う
 - 固定パスワード
 - 標準: [text box]
 - NY は年, MM は月, DD は日に置換されます。
 - 送信先別: [text box]
 - メールアドレスとパスワードを空白で区切り、1行に1つの組み合わせを入力します。
 - メールアドレスの一部を * にすると部分一致となります。
 - 本文コメント:** コメントなし
 - 通知:**
 - 差出人へ暗号化したことを通知する
 - 使用するパスワード通知を指定する
 - 暗号パスワード通知: [dropdown]
 - 送信先へパスワードを自動で通知する
 - パスワード通知リマインドを送る
 - オプション:**
 - AES暗号を使用する
 - メール全体を暗号化する (添付ファイルタイプは無効)
 - 暗号化したファイルの拡張子を標準以外に変更する
 - ZIPファイルの文字コードを変更する
 - MS932 - Windows 日本語
- 条件:**
 - 別ルールの条件をコピーする
 - 以下の条件の全てに一致 (AND)
 - 条件を追加 | 条件リストを追加

添付ファイル保護ルール編集画面

このルールを有効にする	チェックを入れるとルールが有効になります。	
タイトル	ルールのタイトルを 50 文字以内で入力します。	
説明	ルール内容の説明を 256 文字以内で入力します。空欄のままでも登録できます。	
動作	暗号化する	添付ファイルを暗号化します。
	ダウンロード URL にする	送信するファイルをメールから切り離し、ダウンロード先のリンク(URL)を生成します。
	添付ファイル保護しない	添付ファイルを保護しません。
条件	動作を適用する条件を設定します。条件の内容については「ルールの条件」(P.46)をご覧ください。	

CAUTION

本製品の旧バージョンで条件に[ブロックする]あるいは[スルーする]を指定したルールは、動作としてそれぞれ [ブロックする(旧バージョン互換用)][スルーする(旧バージョン互換用)]が設定された状態になります。この設定は変更可能ですが、新規に登録することはできません。

● 暗号化の詳細設定

詳細設定	
パスワード	<input checked="" type="radio"/> ランダムパスワード <input type="checkbox"/> 送信先ごとに違うパスワードを使う <input type="radio"/> 固定パスワード 標準: <input type="text"/> <small>NY は年、MM は月、DD は日に置換されます。</small> 送信先別: <small>メールアドレスとパスワードを空白で区切り、1行に1つの組み合わせを入力します。</small> <small>メールアドレスの一部を*にすると部分一致となります。</small>
	本文コメント <input type="text" value="コメントなし"/>
通知	<input checked="" type="checkbox"/> 差出人へ暗号化したことを通知する <small>使用するパスワード通知を指定する</small> <input type="text" value="暗号パスワード通知"/>
オプション	<input type="checkbox"/> 送信先へパスワードを自動で通知する <input type="checkbox"/> パスワード通知リマインドを送る
	<input type="checkbox"/> AES暗号を使用する <input checked="" type="checkbox"/> メール全体を暗号化する (除外ファイルタイプは無効) <input type="checkbox"/> メール全体をemlファイルとして添付する <input type="checkbox"/> サブジェクトを隠す <input type="checkbox"/> 暗号化したファイルの拡張子を標準以外に変更する <input type="checkbox"/> ZIPファイルの文字コードを変更する <input type="text" value="MS932 - Windows 日本語"/>

動作に「暗号化する」を選択した場合に表示される詳細設定です。

パスワード	ランダムパスワード	システムで自動生成されるランダムなパスワードを使用します。
	送信先ごとに違うパスワードを使う	チェックを入れると、送信先が複数ある場合に送信先ごとに異なるパスワードを使用します。
	固定パスワード	予め設定した固定のパスワードを使用します。 POINT 固定パスワードの文字列に年、月、日に置換する変数を含めることができます。 %Y: 年 (YYYY)、%M: 月 (MM)、%D: 日 (DD)
	標準	標準で使用する固定パスワードを入力します。
	送信先別	送信先別に特定のパスワードを使用するには、テキストフィールドに、メールアドレスとパスワードを空白で区切り、1行に1組を入力します。メールアドレスの指定には、任意の文字列を表すワイルドカード(半角文字の"*")を使用できます。
本文コメント	本文コメントを選択します。[本文コメント]メニューで登録済みのコメントがリスト表示されます。	
通知	差出人へ暗号化したことを通知する	チェックを入れると差出人に処理通知メールを送信します。
	使用するパスワード通知を指定する	送信するパスワード通知をプルダウンより選択します。 POINT [パスワード通知]の設定で定義している通知を選択することができます。
	送信先へパスワードを自動で通知する	チェックを入れると自動的に送信先にパスワードを送信します。

グループ管理メニュー

	パスワード通知リマイン ドを送る	<p>チェックを入れると送信先にパスワード通知リマインドメールを送信 します。</p> <p>POINT</p> <p>パスワード通知リマインドは、[パスワード]-[パスワード通知リマ インド]の設定に従い送信されます。ただし、メール確認画面より(宛先の ひとつでも)手動でパスワード通知を実施した場合やリマインド停止の操 作を行った場合には、その時点で送信がキャンセルされます。</p> <p>CAUTION</p> <p>パスワード通知リマインドは、パスワード通知が自動通知設定になっ ている場合には送信されません。</p>
オプション	AES 暗号を使用する	チェックを入れると暗号化に AES 暗号を使用します。
	メール全体を暗号化す る	チェックを入れるとメール本文および添付ファイルを暗号化します。
	メール全体を eml ファ イルとして添付する	暗号化の際に本文と添付ファイルを eml 形式に変換します。
	サブジェクトを隠す	サブジェクトを設定されているものに差し替えます。
	暗号化したファイルの拡 張子を標準以外に変更 する	チェックを入れると暗号化ファイルの拡張子を変更します。変更する 拡張子は管理者メニューの[暗号オプション]-[暗号化ファイル名 の変更]で設定します。
	ZIP ファイルの文字コー ドを変更する	ZIP ファイルに格納されているファイル名の文字コードを変更しま す。

CAUTION

固定パスワードで暗号化する場合、必ず[標準]欄に固定パ
スワードを設定してください。標準以外の固定パスワードを使
用する場合には、[送信先別]欄で送信先とパスワードを設定
します。[送信先別]欄には、ワイルドカード"*"を使ったメール
アドレスの指定が可能です。設定には注意が必要です。

メールアドレスの一致判定は上位から順番に評価されます。
そのため、例のようにワイルドカードに含まれてしまうような個
別のメールアドレスを指定する場合には、ワイルドカードを
使ったアドレスより上位に設定してください。

例:

```
admin@example.co.jp adminadmin
root@example.co.jp rootroot
*.example.co.jp abcd1234
```

(補足)暗号化におけるオプションについて

[AES 暗号を使用する]

このオプションを有効にすると、暗号化方式が AES(256bit) になります。受信クライアント側でファイルを解凍する場合、AES 暗号方式をサポートした解凍ツールが必要になります。詳しくは P.7 の「パスワード付き ZIP 形式について」を参照してください。

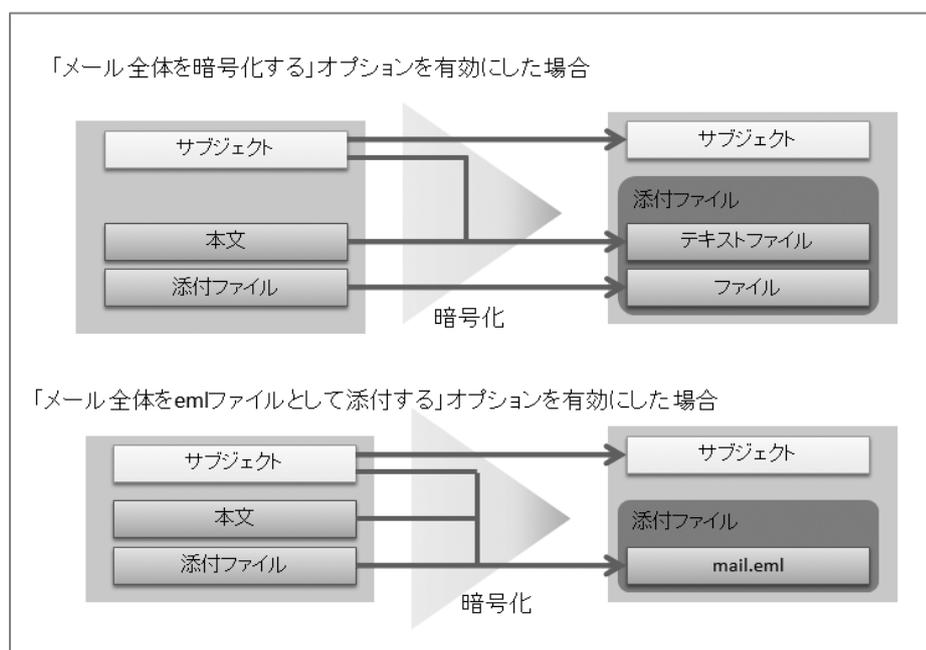
POINT

AES 暗号を使用した場合でも、暗号化ファイルは ZIP 形式になります。

[メール全体を暗号化する]

このオプションを有効にすると、除外ファイルタイプで指定されたファイルタイプを無視し、本文を含めた全てのメールボディのパートが暗号化の対象となります。

メール全体暗号化の方法として、本文と添付ファイル部分を別ファイルとして暗号化する方法とオプションの本文と添付ファイル部分をまとめて eml のファイルとして暗号化する方法の 2 種類の形式があります。



オプション無しの場合、本文テキストが暗号化される際、本文テキストは「[message].txt」という名前のテキストファイルに変更されます。テキストファイル内の先頭行には、元メールの件名が自動的に挿入されます。また、本文テキストは、[暗号オプション]－P.77[メール全体暗号化の本文テキストファイル文字コード]で設定されている文字コードへの変換が行われます。さらにオプションとして、文字コード変換前の本文を別ファイルとして添付することも可能です。文字コード変換前の本文のファイル名は「[original_message].eml」になります。

●メール全体を eml ファイルとして添付する

このオプションを有効にすると、本文と添付ファイルを eml 形式のファイルに変換した後、暗号化を行います。ファイル名は「mail.eml」になります。

●サブジェクトを隠す

このオプションを有効にすると、メール全体暗号化時のメールの件名を[暗号オプション]—P.78 [「サブジェクトを隠す」で差し替えるサブジェクト])で指定した件名に置き換えます。

[暗号化したファイルの拡張子を標準以外に変更する]

このオプションを有効にすると、暗号化ファイルの拡張子とコンテンツタイプを[暗号オプション]—P.76 [暗号化ファイル名の変更]で指定した形式に変更します。このオプションを使用すれば、標準で「.zip」となるファイルの拡張子を任意のものに置き換えることができます。

POINT

本オプションを利用することで「.zip」の拡張子を受信できない環境に対して送信が可能になる場合があります。

[ZIP ファイルの文字コードを変更する]

このオプションを有効に選択すると、ZIP ファイル内のファイル名の文字コードを標準の文字コード(P.77 [ZIP ファイルの文字コード])からプルダウンで選択した文字コードに変更することができます。

送受信者環境のロケールに合わせて変更することで ZIP 解凍時のファイル名の文字化けを防ぐことができます。

POINT

デフォルトの文字コード MS932 は、送信者および受信者環境が日本語の場合において問題無く利用ができますが、送受信者の環境が日本語以外の場合には文字化けが発生する可能性がありますので、送受信者環境のロケールに適した文字コードを選択してください。

また、送受信者で言語環境が異なる場合には、UTF-8 を利用します。但し、UTF-8 を文字コードとして利用した場合、受信者環境の解凍ソフトが UTF-8 に対応している必要があります。

● ダウンロード URL の詳細設定

詳細設定	
パスワード	<input checked="" type="radio"/> ランダムパスワード <input type="checkbox"/> 送信先ごとに違うパスワードを使う <input type="radio"/> 固定パスワード 標準: <input type="text"/> <small>NY は年、MM は月、KD は日に置換されます。</small> 送信先別: メールアドレスとパスワードを空白で区切り、1行に1つの組み合わせを入力します。 <small>メールアドレスの一部を * にすると部分一致となります。</small>
本文コメント	コメントなし
通知	<input checked="" type="checkbox"/> 差出人へダウンロードURLにしたことを通知する 使用するパスワード通知を指定する ダウンロードURLパスワード通知 ▼ <input type="checkbox"/> 送信先へパスワードを自動で通知する <input type="checkbox"/> パスワード通知リマインドを送る

動作に「ダウンロード URL にする」を選択した場合に表示される詳細設定です。

パスワード	ランダムパスワード	システムで自動生成されるランダムなパスワードを使用します。
	送信先ごとに違うパスワードを使う	チェックを入れると、送信先が複数ある場合に送信先ごとに異なるパスワードを使用します。
	固定パスワード	予め設定した固定のパスワードを使用します。 POINT 固定パスワードの文字列に年月日に置換する変数を含めることができます。 %Y: 年 (YYYY)、%M: 月 (MM)、%D: 日 (DD)
	標準	標準で使用する固定パスワードを入力します。
	送信先別	送信先別に特定のパスワードを使用するには、テキストフィールドに、メールアドレスとパスワードを空白で区切り、1行に1組を入力します。メールアドレスの指定には、任意の文字列を表すワイルドカード(半角文字の"*")を使用できます。
本文コメント	本文コメントを選択します。[本文コメント]メニューで登録済みのコメントがリスト表示されます。	
通知	差出人へダウンロードURLにしたことを通知する	チェックを入れると、差出人に添付ファイルをダウンロード URL にしたことを通知します。
	使用するパスワード通知を指定する	送信するパスワード通知をプルダウンより選択します。 POINT [パスワード通知]の設定で定義している通知を選択することができます。
	送信先へパスワードを自動で通知する	チェックを入れると、送信先にパスワードを自動的に送信します。
	パスワード通知リマインドを送る	チェックを入れると送信先にパスワード通知リマインドメールを送信します。

		<p>POINT</p> <p>パスワード通知リマインドは、[パスワード]-[パスワード通知リマインド]の設定に従い送信されます。ただし、メール確認画面より(宛先のひとつでも)手動でパスワード通知を実施した場合やリマインド停止の操作を行った場合、添付ファイルをすべて削除行った場合には、その時点で送信がキャンセルされます。</p> <p>CAUTION</p> <p>パスワード通知リマインドは、パスワード通知が自動通知設定になっている場合には送信されません。</p>
--	--	--

● ファイル名の自動補完処理について(補足)

本製品では、暗号化やダウンロード URL 化処理の際、対象となるファイル名をボディ各パートの MIME ヘッダーにおける Content-Disposition の filename パラメーターもしくは Content-type の name パラメーターより取得します。ただし、これらのパラメーターの値が存在しない場合には、ファイル名の自動補完を行うことがあります。

ファイル名が取得できない場合には、「no_title パート番号」をファイル名として自動補完します。パート番号は存在するパート順に 0 から順に割り当てます。(例. 1 番目のパート:no_title0、3 番目のパート:no_title2) また、以下に該当する Content-Type の場合には、拡張子の自動補完を行います。

Content-type	補完拡張子
application/msword	.doc
application/pdf	.pdf
application/vnd.ms-excel	.xls
application/vnd.ms-powerpoint	.ppt
application/x-lzh	.lzh
application/x-tar	.tar
application/x-zip-compressed	.zip
application/zip	
image/bmp	.bmp
image/gif	.gif
image/jpeg	.jpeg
image/png	.png
message/rfc822	.eml
multipart/alternative	
multipart/digest	
multipart/mixed	
multipart/parallel	
multipart/related	
text/csv	.csv
text/html	.html
text/plain	.txt
text/xml	.xml

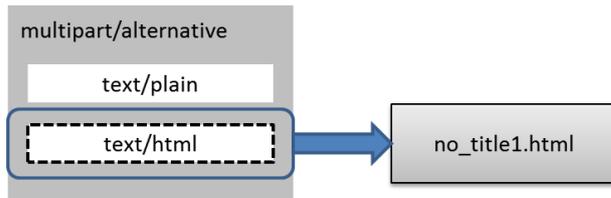
CAUTION

拡張子が自動補完の対象となる Content-type の場合でも、既に拡張子無しのファイル名が存在する場合には、拡張子の自動補完は行われません。

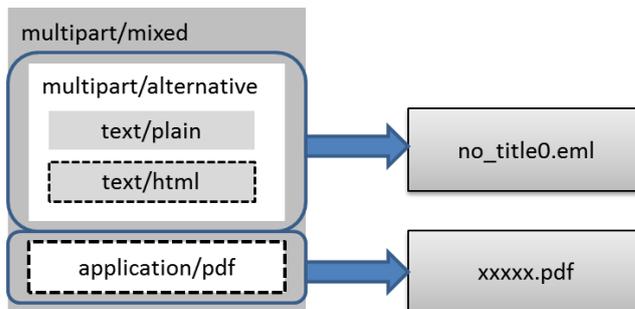
● 階層パートにおける暗号化およびダウンロード URL 化処理について (補足)

HTMLメールや転送メールのようにメールボディ部分の最上位パートにおいて mutipart/xxx や message/rfc822 のようなコンテンツタイプを持つ(階層化構造を持つ)メールの場合、当該パートに含まれる複数のパートをまとめて1つのファイルとして暗号化(ダウンロード URL 化)処理します。階層に含まれる一部のパートのみ暗号化(ダウンロード URL 化)処理することはできませんので注意が必要です。以下に暗号化(ダウンロード URL 化)処理の具体例をいくつか示します。
 ※破線 --- に囲まれた部分は暗号化(ダウンロード URL 化)の対象

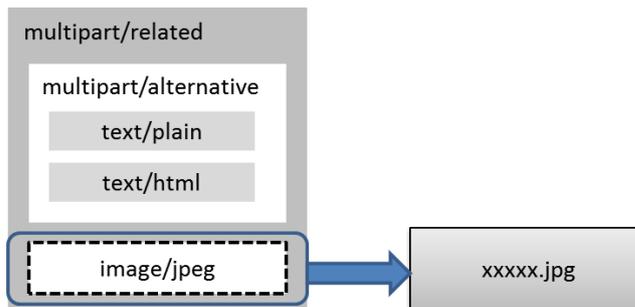
例 1) 本文のみの HTML メール(ボディ部分のパートに階層構造を持たない)



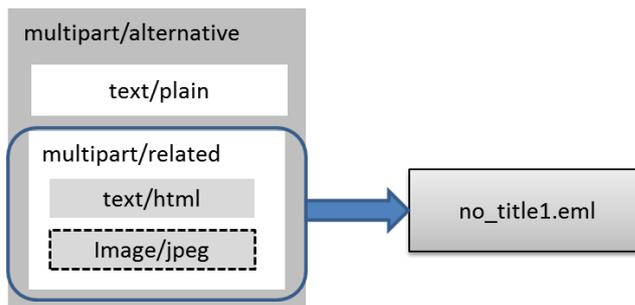
例 2) 添付ファイル(PDF ファイル)付きの HTML メール



例 3) インライン画像付き HTML①



例 4) インライン画像付き HTML②



BCC 化ルール

BCC 化ルールでは、特定のメールに対して To や Cc に指定されたアドレスを BCC へ変換する「BCC 化する」動作と何もヘッダーの変換をしない「BCC 化しない」動作を定義できます。本ルールでは、メールの宛先に対して別々の動作を適用することができます。

BCC 化ルール編集画面

このルールを有効にする	チェックを入れるとルールが有効になります。	
タイトル	ルールのタイトルを 50 文字以内で入力します。	
説明	ルール内容の説明を 256 文字以内で入力します。空欄のままでも登録できます。	
動作	BCC 化する	条件に該当するメールを BCC 変換します。
	BCC 化しない	条件に該当するメールを BCC 変換しません。
条件	条件を設定します。条件の内容については、「ルールの条件」(P.46)をご参照ください。	

POINT

BCC 化ルールは、添付ファイル保護ルールの動作と組み合わせて利用ができます。

● BCC 化の詳細設定

詳細設定	
To:ヘッダー	<input type="radio"/> undisclosed-recipients; <input type="radio"/> 差出人メールアドレス
除外アドレス	BCC化から除外するメールアドレスがあれば1行に1つ入力します。 <small>メールアドレスの一部を * にすると部分一致となります。除外が適用された場合は「To:ヘッダー」で設定したアドレスは挿入されません。</small>
通知	<input checked="" type="checkbox"/> 差出人へBCC化したことを通知する

動作に「保留する」を選択した場合に表示される詳細設定です。

To:ヘッダー	BCC 変換時に TO ヘッダーに挿入するメールアドレスを選択します。	
	POINT	
	To および CC ヘッダーの全てのアドレスが BCC 変換された場合に挿入されます。BCC 化しないアドレスがひとつでもヘッダーに存在する場合には挿入されません。	
	undisclosed-recipients;;	左記の固定のメールアドレスが挿入されます。
	差出人メールアドレス	エンベロープ FROM のメールアドレスが挿入されます。
除外アドレス	BCC 変換から除外するメールアドレスを最大 10 件まで登録できます。メールアドレスの指定には、ワイルドカード(半角文字の"*")が使用できます。	
	POINT	
	ヘッダーに指定されているメールアドレスの一部をヘッダーに残したい場合に利用します。	
通知	[差出人へ BCC 化したことを通知する]をチェックを入れると差出人へ処理通知メールを送信します。	

テストルール

テストルールは、条件判定をテストするための特殊なルールです。その他のタブと異なり条件判定の結果のみレポートに記録され、処理は行われません。

テストルール編集画面

このルールを有効にする	チェックを入れるとルールが有効になります。
タイトル	ルールのタイトルを 50 文字以内で入力します。
説明	ルール内容の説明を 256 文字以内で入力します。空欄のままでも登録できます。
動作	レポートに記録する
条件	条件を設定します。条件の内容については、「ルールの条件」(P.46)をご参照ください。

POINT

テストルールの条件に一致したかどうかは、レポートで確認することができます。
基本的にテストルールの条件に一致した場合にレポートへ出力されますが、テストルールの定義がひとつ以上存在し、どのテストルールにも一致しない場合には、テストルールにマッチしなかったこともレポートに記録されます。その場合、当該レポートの処理は「TEST」、処理メッセージは「No match test rules.」として表示されます。

CAUTION

条件の項目として「送信先」または「BCC」を選択する場合、評価モードの設定 (P.62「テストルールモード」) によって条件判定動作が変わります。当該条件をテストする場合には、追加するルールタブの動作に合わせて評価モードの設定も変更するようにしてください。

システムルール

システムルールとは、本システムで保留や添付ファイル保護などの処理をすべきではない、または、処理した場合に問題が発生するメールを除外する目的で組み込まれた特殊なルールになります。ルール自体を有効、無効化することは可能ですが、内容の編集や削除、ルール評価の優先順序の変更操作はできません。

ブロック	保留	添付ファイル保護	BOC化	テスト	システム
メール全体をスルー	S/MIME処理されたメールはスルー			↑ ↓ 編集	
メール全体をスルー	PGP処理されたメールはスルー			↑ ↓ 編集	
メール全体をスルー	エラーメールはスルー			↑ ↓ 編集	
メール全体をスルー	開封通知メールはスルー			↑ ↓ 編集	
メール全体をブロック	分割メールはブロック			↑ ↓ 編集	

S/MIME 処理されたメールはスルー	S/MIME で暗号化や署名されたメールをスルーします。
PGP 処理されたメールはスルー	PGP で暗号化や署名されたメールをスルーします。
エラーメールはスルー	宛先不明や受信拒否などにより送信者に返信されるエラーメール (NDR)をスルーします。
開封通知メールはスルー	送信者に対してメール開封を通知するメール(MDN)をスルーします。
分割メールはブロック	メールクライアントで分割送信されたメールをブロックします。

POINT

システムルールはその他タブのルールより優先的に処理されます。

CAUTION

ルールを無効化する場合、保留や暗号化ルールの処理において問題がないか事前に確認を行って変更してください。

ルールの条件

ルール編集画面の[条件]では、[動作]の対象となるメールの条件を設定します。複数の条件を組み合わせで定義することができ、1ルール内に条件リスト内の条件もあわせて最大20個まで定義することができます。ルールには最低1つの条件が必要になります。

● 条件の要素



① 別ルールの条件をコピーする

グループ内の既存のルールより条件を複製することができます。

② 複数条件の判定方法の選択

複数条件の判定方法をドロップダウンより選択します。

以下の条件の全てに一致 (AND)	条件同士は論理積 (AND) の関係になります。
以下の条件のいずれかに一致 (OR)	条件同士は論理和 (OR) の関係になります。

③ 評価対象の選択

評価対象をドロップダウンより選択します。

送信先	エンベロープの送信先が評価対象になります。
To,Cc	To ヘッダーと Cc ヘッダーのメールアドレス部分が評価対象になります。
BCC	BCC の送信先 (ヘッダーに存在せずエンベロープにのみ存在する送信先) が評価対象になります。
差出人	エンベロープの差出人が評価対象になります。
ファイル名	添付ファイルのファイル名が評価対象になります。 CAUTION 添付ファイルがメールの場合や ZIP や LZH などの圧縮ファイルの場合、それ自身のファイル名は評価対象になりますが、メールの添付ファイルや圧縮ファイル内のファイル名は評価対象になりません。
ヘッダー	送信するメールのヘッダー情報が評価対象になります。
サブジェクト (Subject)	件名が評価対象になります。
差出人 (From) * フィールド値全体	From ヘッダー全体の文字列が評価対象になります。

グループ管理メニュー

差出人(From) * 個別メールアドレス	From ヘッダーに含まれるメールアドレス部分のみ評価対象になります。
送信先(To) * フィールド値全体	To ヘッダー全体の文字列が評価対象になります。
送信先(To) * 個別メールアドレス	To ヘッダーに含まれるメールアドレス部分のみ評価対象になります。
送信先(Cc) * フィールド値全体	Cc ヘッダー全体の文字列が評価対象になります。
送信先(Cc) * 個別メールアドレス	Cc ヘッダーに含まれるメールアドレスが評価対象になります。
コンテンツタイプ(Content-type)	Content-type ヘッダーが評価対象になります。
その他(右欄に入力)	任意の指定したヘッダーが評価対象になります。
IP アドレス	接続元の IP アドレスが評価対象になります。
To,Cc 件数	To ヘッダーおよび Cc ヘッダーのメールアドレス件数の合計が評価対象になります。
メールサイズ	送信するメールサイズが評価対象になります。
全ての添付ファイル	全ての添付ファイルが評価対象になります。
一部の添付ファイル	一部の添付ファイルが評価対象になります。
添付ファイル	添付ファイルが評価対象になります。

POINT

ルールによる「送信先」および「BCC」の評価対象の違い

「ブロック・保留ルール」と「添付ファイル保護・BCC 化ルール」では「送信先」および「BCC」に対する評価方法が異なります。

「ブロック・保留ルール」では、すべての送信先メールアドレスをまとめて条件判定の評価対象とするのに対し、「添付ファイル保護・BCC 化ルール」では、各送信先のメールアドレス個別での評価になります。

そのため、前者では下記例のような複数の「送信先」を組み合わせると AND 条件で結ぶ定義が可能ですが、後者では条件に一致しないもしくは意図しない条件判定結果になることがありますので注意が必要です。

例)「送信先」に「test01@example.com」かつ「test02@example.com」を含む」という内容の条件

The screenshot shows a configuration window for a rule. At the top, it says '以下の条件の全てに一致 (AND)'. Below this, there are two identical condition rows. Each row has a dropdown menu set to '送信先' (To) and a text input field containing an email address. The first row contains 'test01@example.com' and the second row contains 'test02@example.com'. To the right of each row are buttons for '↑', '↓', and '削除' (Delete). Below the rows, there are buttons for '条件を追加' (Add Condition) and '条件リストを追加' (Add Condition List). A note below the rows states: '通常一致(ワイルドカード) キーワードの一部を * にすると部分一致になります。大文字小文字は区別しません。' (Normal match (wildcard) keyword part with * becomes partial match. Case is not distinguished.)

仮に送信メールが、「test01@example.com」、「test02@example.com」、「test03@example.com」の3つの宛先のメールの場合でのそれぞれの評価方法と条件判定結果は以下になります。

◆「ブロック・保留ルール」

送信先「test01@example.com」、「test02@example.com」、「test03@example.com」に条件が含まれるかを判定します。「test01@example.com」と「test02@example.com」が含まれるため、条件判定は真(TRUE)になります。

グループ管理メニュー

◆「添付ファイル保護・BCC 化ルール」

各送信先のメールアドレスを個別に評価しますので、まず送信先「test01@example.com」に対し、条件「test01@example.com」かつ「test02@example.com」が含まれるかを判定します。順に「test02@example.com」、「test03@example.com」を対象に条件一致の判定をします。評価対象が一つのメールアドレスに対し、二つのメールアドレス(条件)が含まれることはありませんので条件判定は、偽(FALSE)になります。

POINT

From, To, Cc ヘッダーの「フィールド値全体」と「個別メールアドレス」の違い

以下の例のような Cc ヘッダーのとき、

例) Cc: test01 <test01@example.com>, test02 <test02@example.com>

◆フィールド値全体

ヘッダーに定義されている全ての文字列

「test01 <test01@example.com>, test02 <test02@example.com>」が評価対象になります。

CC ヘッダー全体に合致するような条件定義が必要です。

◆個別メールアドレス

メールアドレス部分の「test01@example.com」と「test02@example.com」が評価対象になります。

CC ヘッダーの個々の(表示名を含まない)メールアドレスに合致するような条件定義が必要です。

但し、グループアドレス形式のメールアドレスの場合

(例: group: test01 <test01@example.com>, test02 <test02@example.com>;)、グループを構成する個別アドレス(「test01@example.com」, 「test02@example.com」)は評価対象になりません。

グループアドレス全体(group: test01 <test01@example.com>, test02 <test02@example.com>;)が評価対象になります。

④ 判定方法の選択

評価対象の判定方法をドロップダウンより選択します。③の評価対象によって選択できる判定方法は異なります。

送信先 To,Cc BCC 差出人 ファイル名 ヘッダー IP アドレス	以下のキーワードのいずれかに一致	評価対象にキーワードがひとつでも含まれる場合に真(true)となります。
	以下のキーワードのいずれにも一致しない	評価対象にキーワードがひとつも含まれない場合に真(true)となります。
	以下のキーワード以外を含む	評価対象にキーワード以外が含まれる場合に真(true)となります。
	以下のキーワード以外を含まない	評価対象にキーワードのみ含まれる場合に真(true)となります。
送信先 To,Cc BCC	上長メールアドレスを全て含む	評価対象にユーザーで定義されている上長メールアドレス全てが含まれる場合に真(true)となります。
	上長メールアドレスの全てを含まない	評価対象にユーザーで定義されている上長メールアドレスがひとつでも欠けている場合に真(true)となります。
	上長メールアドレスをひとつ以上含む	評価対象にユーザーで定義されている上長メールアドレスがひとつでも含まれる場合に真(true)となります。
	上長メールアドレスをひとつも含まない	評価対象にユーザーで定義されている上長メールアドレスがひとつも含まれない場合に真(true)となります。

グループ管理メニュー

	<p>CAUTION</p> <p>送信先および BCC に対する上長メールアドレスの有無の条件判定※は、ブロックおよび保留ルールでのみ定義できます。添付ファイル保護、BCC ルールでは表示されません。</p>	
TO,CC 件数	件数が多い	評価対象が指定した件数より多い場合に真(true)となります。
	<p>POINT</p> <p>件数としてカウントしたくないメールアドレスは除外メールアドレス欄に入力します。</p>	
メールサイズ	MB より大きい	評価対象が指定したサイズより大きい場合に真(true)となります。
全ての添付ファイル 一部の添付ファイル	ZIP パスワード保護されたファイル	評価対象がパスワード保護されている ZIP ファイルの場合に真(true)となります。
	ZIP パスワード保護されていないファイル	<p>評価対象がパスワード保護されていない ZIP ファイルではない場合に真(true)となります。</p> <p>POINT</p> <p>「全ての添付ファイル」が「ZIP パスワード保護されていないファイル」とは、添付ファイルすべてがパスワード付きではない場合に真(True) になります。</p>
	<p>POINT</p> <p>ZIP パスワード保護のチェック対象とするファイルは、ファイル名の拡張子が、".zip"または"zi_"の 2 種類の場合です。</p>	
添付ファイル	あり	評価対象が存在する場合に真(true)となります。
	なし	評価対象が存在しない場合に真(true)となります。
	<p>POINT</p> <p>添付ファイルの判定方法については、P62.[添付ファイルの判定条件]で定義します。</p>	

⑤ 評価対象のキーワード入力

1 行に 1 つのキーワードを入力します。複数のキーワードを指定する場合には、改行し 1 行 1 キーワードで入力します。キーワードは最大 500 件まで定義することができます。各キーワードは OR の関係性になります。また指定したキーワードのタイプをドロップダウンリストから[通常一致(ワイルドカード)]または[拡張一致(正規表現)]を選択します。

グループ管理メニュー

通常一致(ワイルドカード)	<p>キーワードを通常の文字列として扱います。部分一致として、"*"ワイルドカード(任意の文字列)を利用できます。</p> <p>POINT</p> <p>ワイルドカードとして使用する"*"(アスタリスク)を通常の文字列として認識させる場合には、"¥"をエスケープ文字として使用します。</p> <p>「*.jp」⇒".jp"で終わる任意の文字列と一致 「¥*.jp」⇒"*.jp"と一致 「¥¥.jp」⇒"¥.jp"と一致</p>
拡張一致(正規表現)	<p>キーワードを正規表現の文字列として扱います。</p> <p>POINT</p> <p>利用できる正規表現文字一覧については、Appendix を参照してください。</p>

⑥ 条件の評価順序の変更、条件の削除

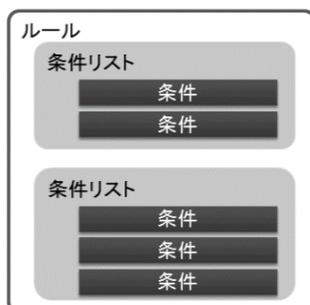
	クリックすると、条件の順番を先頭へ移動します。
	クリックすると、条件の順番を一つ上へ移動します。
	クリックすると、条件の順番を一つ下へ移動します。
	クリックすると、条件の順番を末尾へ移動します。
	条件を削除します。削除確認のダイアログが表示されます。

⑦ 条件の追加

条件を追加します。複数の条件を追加する場合、② 複数条件の判定方法の選択 で 条件同士の組み合わせ方法を選択します。

⑧ 条件リストの追加

条件リストを追加します。
 条件リストを利用すると、さらに条件を“AND”または”OR”で組み合わせで定義することができます。



POINT

条件は上位より順番に評価されます。

● 別ルールの子条件コピー

ルール作成時や編集時に条件をグループ内の別ルールより複製することができます。



[ルール編集]画面で、①<別ルールの条件をコピーする>をクリックします。



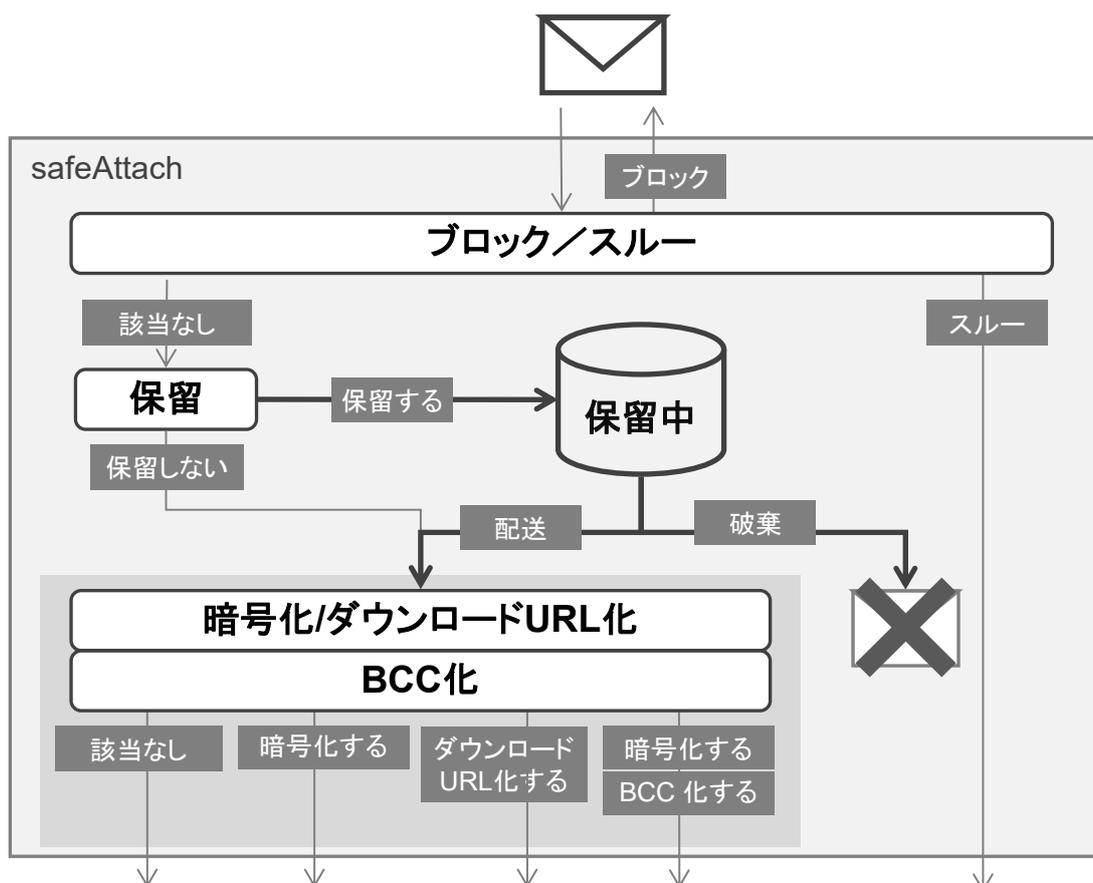
②ルールタブを選択し、表示された③ルールの一覧より複製する条件のルールを選択し、<OK>ボタンをクリックします。

ルール判定と処理について(補足)

本製品のルールの条件判定処理は、「システム」→「ブロック」→「保留」→「添付ファイル保護」→「BCC化」タブの順番で行われます。送信したメールが、最初に行われるブロック(またはスルー)ルールの条件に合致した場合はそこで動作が決定され、ルール判定処理は終了します。(「テスト」ルールについては、その他のルール処理の順番に関係なく独立して判定処理が行われます。)

一方、保留ルール以降のルールについては、複数のタブに跨り条件判定処理が行われ、条件に一致したすべての動作が行われます。例えば、送信したメールが保留するルールの条件に一致し、さらに暗号化するルールの条件にも一致した場合には、保留処理がまず行われ、保留解除後、暗号化処理が行われます。保留したメールが破棄された場合には、その後の動作は実施されません。

また各ルールタブ内でのルール判定処理は上位より順番に行い、最初に該当するルールが適用されます。

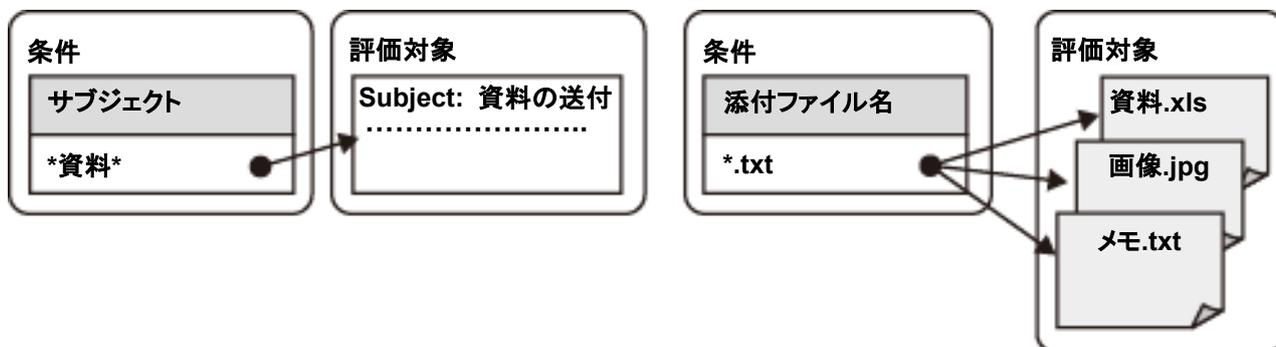


条件の判定方法と評価対象について(補足)

差出人やサブジェクトなど評価の対象になる値が常に1つしかない場合は、「一致する／一致しない」だけが判定基準になり、「以下のキーワードのいずれかに一致」もしくは「以下のキーワードのいずれにも一致しない」のどちらかで「判定方法」を選択します。(他の2つの判定方法、「以下のキーワード以外を含む」は「以下のキーワードのいずれにも一致しない」と、「以下のキーワード以外を含まない」は「以下のキーワードのいずれかに一致」と同じ判定結果となります。)

それに対し送信先や添付ファイルなど評価対象が複数になる可能性がある場合は、個々の対象に対する判定結果の組み合わせによって、最終的な判定結果が異なりますのでそれぞれの判定方法について理解しておく必要があります。

- 評価の対象が1つの場合(差出人、サブジェクトなど)
- 評価の対象が複数ある場合(送信先、添付ファイルなど)



- 複数の評価対象と「判定方法」による判定結果の違い

個々の判定結果		最終的な判定結果			
評価対象(1)	評価対象(2)	以下のキーワードのいずれかに一致(OR)	以下のキーワードのいずれにも一致しない(NOR)	以下のキーワード以外を含む(NAND)	以下のキーワード以外を含まない(AND)
不一致	不一致	FALSE	TRUE	TRUE	FALSE
一致	不一致	TRUE	FALSE	TRUE	FALSE
不一致	一致	TRUE	FALSE	TRUE	FALSE
一致	一致	TRUE	FALSE	FALSE	TRUE

※一致・不一致: 条件のキーワードと評価対象の比較結果

※TRUE・FALSE: 条件に合致する・条件に合致しない

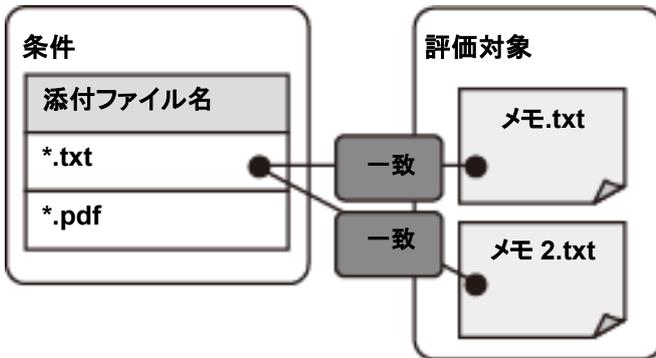
POINT

「判定方法」の選択に関わらず、条件のキーワードの関係性は常に「OR(論理和)」となります。

例えば、添付ファイル名を条件とし、メールには複数のファイルが添付されているとします。すべての添付ファイル名が条件のキーワードと一致する、もしくはすべて一致しない場合は、添付ファイルが1つしかない場合と同じで「以下のキーワードのいずれかに一致」と「以下のキーワード以外を含まない」、「以下のキーワードのいずれにも一致しない」と「以下のキーワード以外を含む」は同じ判定結果となります。

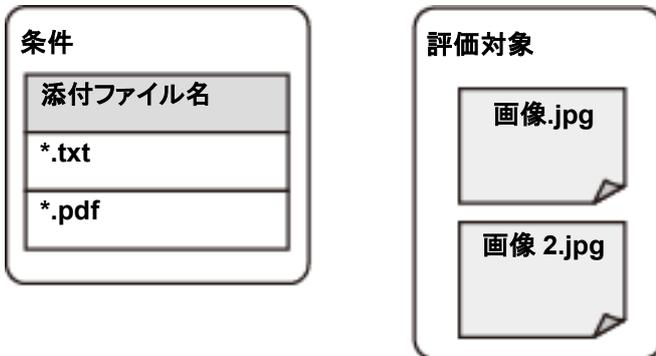
しかしキーワードに一致する添付ファイルと一致しない添付ファイルが混在する場合は、判定方法により、結果が異なります。作成するルールの目的によって適切な「判定方法」を選択してください。

●評価対象のすべてに一致する



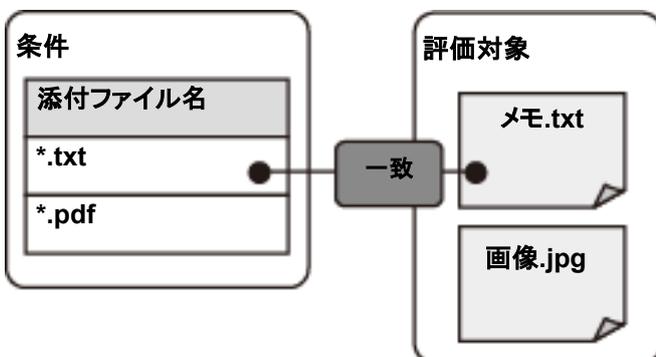
キーワードのいずれかに一致	TRUE
キーワードのいずれにも一致しない	FALSE
キーワード以外を含む	FALSE
キーワード以外を含まない	TRUE

●評価対象のすべてに一致しない



キーワードのいずれかに一致	FALSE
キーワードのいずれにも一致しない	TRUE
キーワード以外を含む	TRUE
キーワード以外を含まない	FALSE

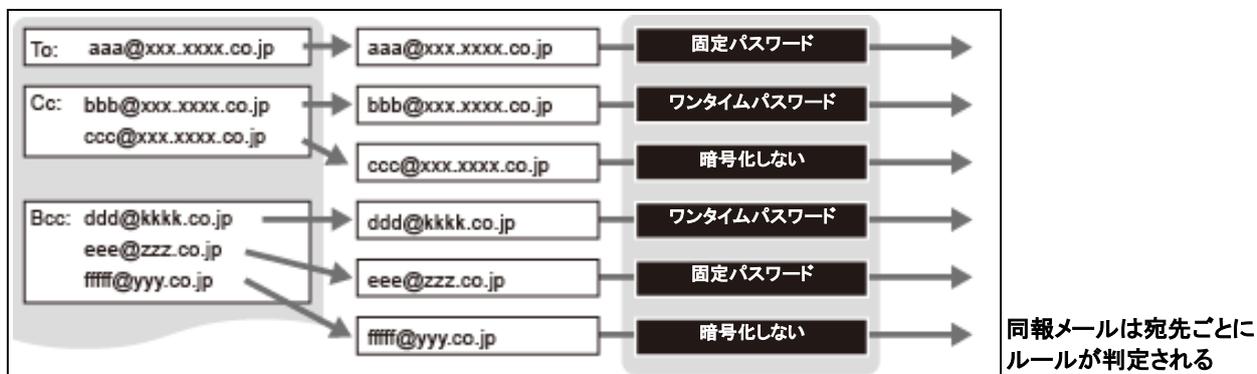
●「一致する」と「一致しない」が混在する



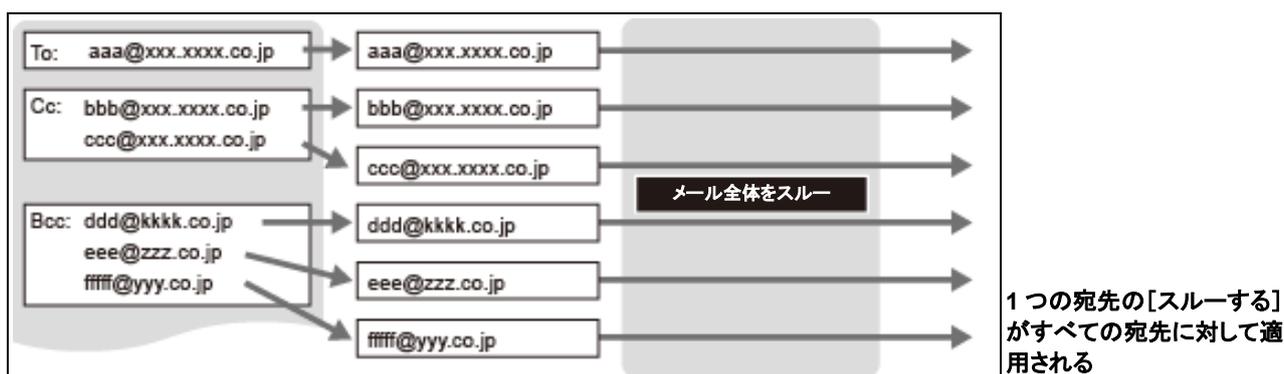
キーワードのいずれかに一致	TRUE
キーワードのいずれにも一致しない	FALSE
キーワード以外を含む	TRUE
キーワード以外を含まない	FALSE

複数の送信先に対する動作について(補足)

"CC"や"BCC"を含む同報メールを送信する場合、添付ファイル保護ルールやBCC化ルールはそれぞれ別々の宛先を持った電子メールと判断し、それぞれの宛先に対してルール判定を行います。



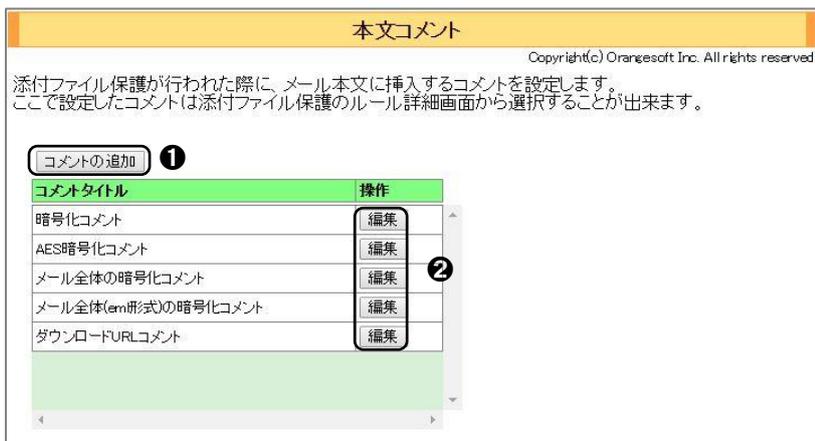
一方、ブロック([ブロックする]と[スルーする])、保留([保留する]と[保留しない])では、同報メールの宛先すべてを包括してルール判定します。つまり、TO/CC/BCCの中に1つでも条件に当てはまる送信先があれば、そのメールすべての送信先に同じ動作が適用されます。



例えば、上図のような同報メールの場合に To の宛先"aaa@xxx.xxx.co.jp" は[スルーする]ルールがあり、その他の宛先は、保留や暗号化するルールが定義してあると仮定します。

[スルーする] ルールは To の宛先にしか一致しませんが、すべての宛先を包括して処理するため、To の宛先だけではなく、すべての宛先に対して[スルーする]処理が適用され、保留も暗号化もせずに送信されます。宛先を条件にしたルールを作成・登録する場合には、こうした点に注意してください。

本文コメント



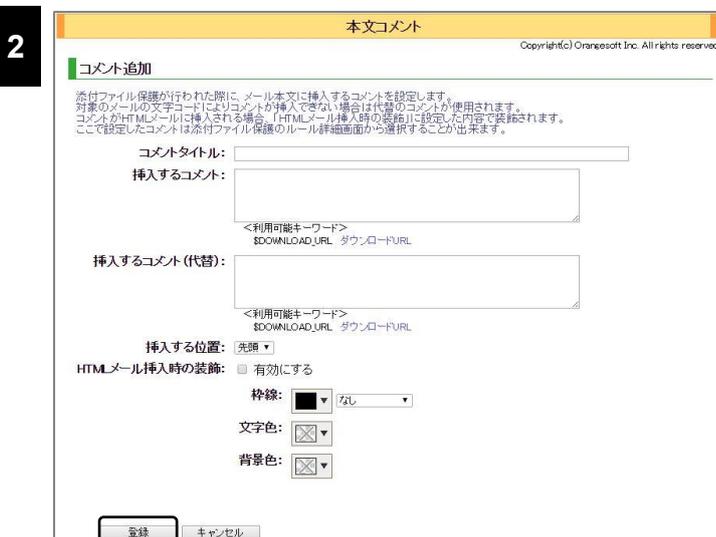
暗号化またはダウンロード URL 化したメール本文に任意の定型文(本文コメント)を挿入できます。本文コメントは複数登録が可能で、登録した本文コメントは添付ファイル保護ルールの設定で選択できるようになります。

CAUTION

- ・本設定は、暗号化またはダウンロード URL 化の機能が有効な場合に表示されます。
- ・本文コメントを登録・編集・削除した場合、システムに設定を反映させる必要があります。設定反映については、「設定反映について」(P.13)をご覧ください。

● コメントの追加・編集

- 1 本文コメントを追加するには、①<コメントの追加>ボタンをクリックします。登録されているコメントを編集するには、②<編集>ボタンをクリックします。



表示された項目を入力または編集し<登録>ボタンをクリックします。

コメントタイトル	[本文コメント]画面に表示するタイトルを 100 文字以内で入力します。	
挿入するコメント*1	メールの本文に挿入するコメントを 10,000 文字以内で入力します。	
挿入するコメント(代替)*2	文字コードの互換性の問題により上記設定の"挿入するコメント"が使用できない場合、代わりに挿入するコメントを 10,000 文字以内で入力します。入力できる文字は、制御文字を除く ASCII 文字(半角記号、半角英数字)のみです。	
挿入する位置	先頭	メール本文の先頭にコメントを挿入します。
	末尾	メール本文の末尾にコメントを挿入します。

グループ管理メニュー

HTML メール挿入時の装飾	有効にする	チェックを入れると HTML メール挿入時のコメント文の装飾が有効になります。
	枠線	枠線の色、線種を設定します。
	文字色	文字色を設定します。
	背景色	背景色を設定します。

挿入コメントには、以下に示す変数を埋め込むことができます。

変数	内容
\$DOWNLOAD_URL	ID(受信者メールアドレス)およびパスワード入力が必要なダウンロード画面 URL
\$DOWNLOAD_RCPT_URL	ID(受信者メールアドレス)入力不要のダウンロード画面 URL
\$DOWNLOAD_NOPASS_RCPT_URL	ID(受信者メールアドレス)およびパスワード入力不要のダウンロード画面 URL
\$WAIT_TIME	パスワード自動通知待ち時間(単位:分)

POINT

- ・ダウンロード画面の URL は、送信メールごとに生成される推測困難なワンタイム URL になります。

CAUTION

代替コメント*2 は、挿入するコメント*1 が設定されていない、または優先的に利用するコメント*1 の文字列が元メール本文の文字コードの問題で挿入できない場合に使用されます。例えば、元メールの文字コードが ASCII コードの場合、日本語のコメントは ASCII コードで表示できませんので、代替コメントが挿入されます。

● コメントを削除する

1

登録されているコメントの削除は、編集画面から行います。

2

コメント編集画面を開いたら、<削除>ボタンをクリックします。

CAUTION

ルールで使用されている本文コメントは削除できません。まずルールでの設定を解除してから削除を行ってください。

3

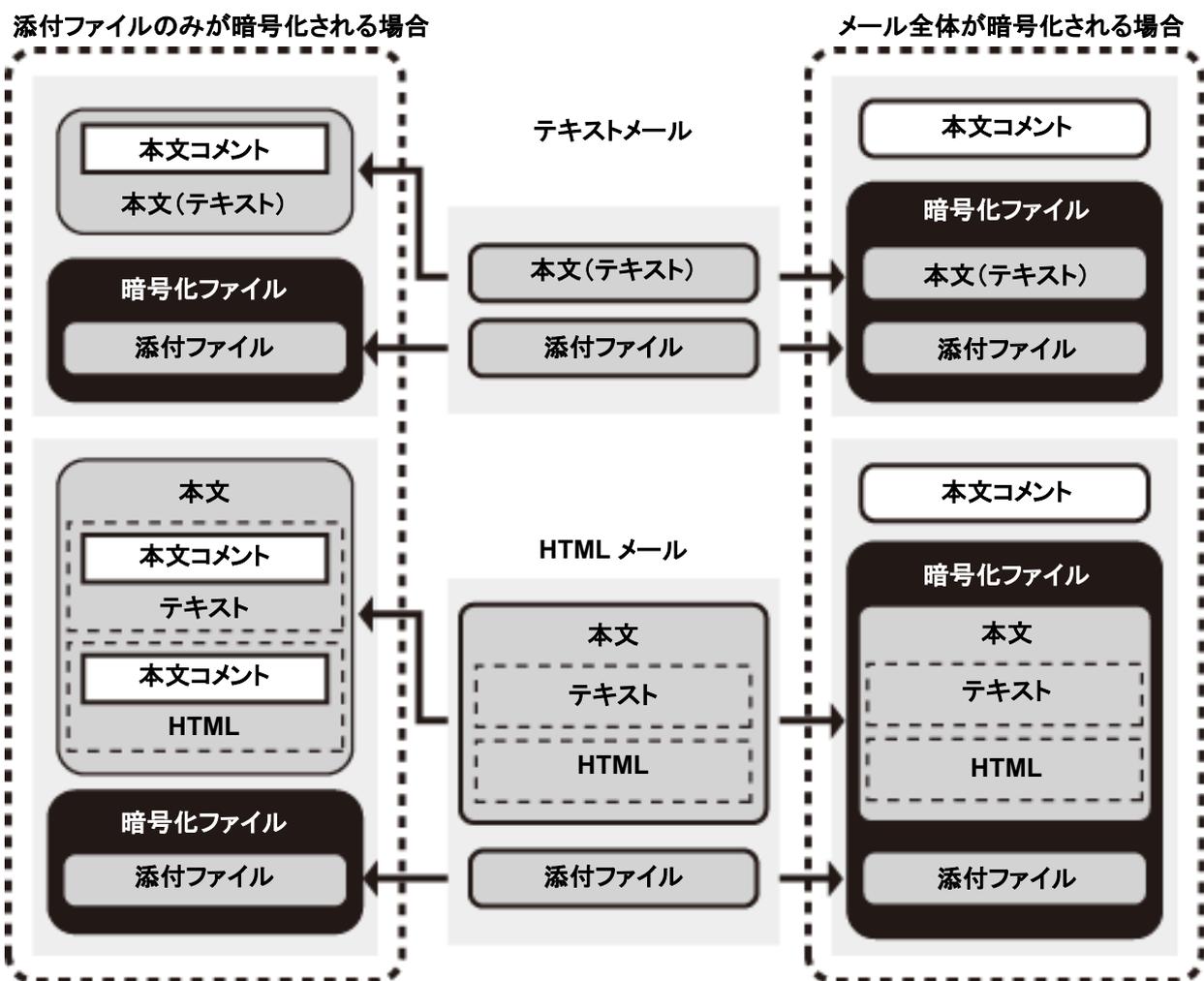
確認ダイアログが表示されたら<OK>ボタンをクリックします。

● 本文コメントの挿入処理について

本文コメントの挿入処理はユーザーが送信するメールの形式や登録したルールによって変化します。

添付ファイルのみ暗号化される場合、テキスト形式のメールでは本文テキスト部分にコメントが挿入されます。HTML形式のメールでは本文HTML部分にコメントが挿入され、本文テキスト部分も存在すれば本文テキスト部分にもコメントが挿入されます。

また、「メール全体を暗号化する」オプションが有効なルールでの処理では、メールの形式にかかわらず、常にコメントは新しいテキストパートとして挿入されます。また、本文コメントの挿入位置が有効となるのは、既存の本文パートにコメントが挿入される場合のみとなります。



エクスポート

各ルールタブにおけるルール一覧および本文コメントの一覧を個別にエクスポート、インポートすることができます。

● エクスポート

①エクスポート対象より項目をチェックし、②<エクスポート>をクリックします。
xml ファイルとしてファイルをダウンロードすることができます。

POINT

エクスポートするファイル名は、「sa_rulebackup_種別フラグ_実行日時 (yyyyMMddHHmmss).xml」となります。種別フラグについては、以下の通りです。

本文コメント: comment

ブロック: block

保留: hold

添付ファイル保護: zip

BCC 化: bcc

テスト: test

● インポート

①<ファイルを選択>をクリックし、インポートするファイルをしてします。

②インポート時のオプションを[既存のデータは削除する][同時に設定反映する]を利用する場合、各項目をチェックし、③<インポート>をクリックします

POINT

[既存のデータを削除する]が無効な場合、既存のルールやコメントはそのまま残します。既存の内容によっては、同じ内容のルールやコメントが重複して作成されます。

CAUTION

添付ファイル保護ルールをインポートする際、ルールに紐づく本文コメント(コメントタイトル)がインポート先に存在しない場合、本文コメント無しでルールがインポートされます。

添付ファイル保護ルールをインポートする場合には、本文コメントを先にインポートするようにしてください。

また、パスワード通知はエクスポート対象ではありませんが、本文コメント同様、添付ファイル保護ルールインポート時にはルールに紐づくパスワード通知が存在している必要があります。仮に存在しない場合、リスト先頭のパスワード通知が利用されますので、インポート後に調整してください。

添付ファイル保護ルールと本文コメント、パスワード通知の紐づきは、コメントタイトルや通知タイトルの文字列で判断されます。

設定

ルールオプション

ルールオプション設定 Copyright© OrangeSoft Inc. All rights reserved.

ルール衝突オプション

送信先宛に異なる動作のルールが混在した際にブロックし、メールを送信できないようにします。

- 添付ファイル保護する/しないが混在するメールをブロックする
- ランダム/固定パスワードが混在するメールをブロックする

テストルールモード

テストルールでの宛先メールアドレスの評価方法を設定します。

- ブロック・保留(すべての送信先をまとめて評価する)
- 添付ファイル保護・BOC(送信先を別々に評価する)

添付ファイルの判定条件

添付ファイルの判定条件に、どの設定を使用するかを設定します。
ネストしたメッセージ対応はMMR(ドットがつかない)のメールに対して、暗号を辿って添付ファイルを探します。
除外ファイルタイプ:添付ファイルとみなさない対象のファイルタイプを設定します。

- 暗号化オプションの「ネストしたメッセージ対応」除外ファイルタイプの設定を使用する
- ダウンロードオプションの「ネストしたメッセージ対応」除外ファイルタイプの設定を使用する
- 以下の設定を使用する

ネストしたメッセージ対応 有効にする (添付されたメールは除く)
 無効にする

除外ファイルタイプ プレーンテキスト
 HTML
 インライン画像

ブロック通知メール

差出人(From):

サブジェクト: [safeAttach] ブロック通知

本文: 以下のブロックが適用されました。

【一致したルール】
タイトル: \$RULE_TITLE

【対象メール情報】
差出人: \$FROM
送信先: \$TO
サブジェクト: \$SUBJECT
メールタイプ: \$MAIL_SIZE
添付ファイル: \$ATTACHMENT

<利用可能キーワード>

\$MAIL_ID	メール処理ID
\$DATE	メールの送信日時(Dateヘッダの日時)
\$SUBJECT	メールのサブジェクト(オプショナル)
\$RULE_ID	ルールのID
\$RULE_TITLE	ルールのタイトル
\$TO	送信先メールアドレス
\$FROM	差出人メールアドレス
\$ATTACHMENT	添付ファイル名
\$IP_ADDRESS	接続元IPアドレス
\$MAIL_SIZE	メールサイズ
\$HEADER	メールのヘッダ情報

文字コード: ISO-2022-JP
 UTF-8

ルールオプションの設定を行います。新規設定または設定変更後<登録>ボタンをクリックすると、設定内容が登録されます。

CAUTION

ルールオプション設定の登録および変更後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.13)をご覧ください。

ルール衝突オプション

送信する電子メールに対して、ルールによって異なる処理動作が当てはまる場合、電子メールの送信をブロックすることができます。ブロックする処理オプションをチェックします。

添付ファイル保護する/しないが混在するメールをブロックする	チェックを入れると、添付ファイル保護ルールで添付ファイル保護する(暗号化するもしくはダウンロード URL にする)と添付ファイル保護しないのどちらにも当てはまる電子メールの送信をブロックします。
ランダム/固定パスワードが混在するメールをブロックする	チェックを入れると、添付ファイル保護ルールで固定パスワードとランダムパスワードのどちらにも当てはまる電子メールの送信をブロックします。

CAUTION

本機能は暗号化もしくはダウンロード URL 機能が有効な場合に表示されます。

● テストルールモード

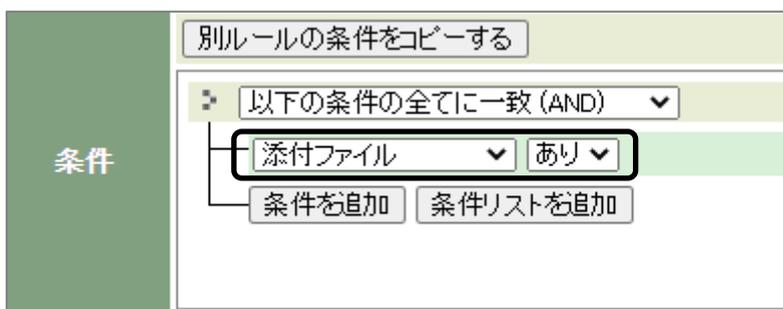
テストルールにおける「送信先」の評価方法を選択します。

ブロック・保留	ブロックおよび保留ルールと同じ評価方法になります。全ての送信先をまとめて評価します。
添付ファイル保護・BCC	添付ファイル保護および BCC 化ルールと同じ評価方法になります。各送信先を別々に評価します。

POINT

ルールによる「送信先」の評価方法の違いについては、P.47「ルールによる「送信先」および「BCC」の評価対象の違い」をご確認ください。

● 添付ファイルの判定条件



ルール条件項目の「添付ファイルあり」「添付ファイルなし」において、添付ファイルとみなす条件についての設定を行います。

暗号化オプションの「ネストしたメッセージ対応」、除外ファイルタイプの設定を使用する	[除外ファイルタイプ]で指定された以外のファイルを添付ファイルとしてみなします。ファイルタイプの判定動作は、[暗号化オプション]－[ネストしたメッセージ対応]に従います。	
ダウンロードオプションの「ネストしたメッセージ対応」、除外ファイルタイプの設定を使用する	[除外ファイルタイプ]で指定された以外のファイルを添付ファイルとしてみなします。ファイルタイプの判定動作は[ダウンロードオプション]－[ネストしたメッセージ対応]に従います。	
以下の設定を使用する	設定された条件を添付ファイルとみなします。	
ネストしたメッセージ対応	有効にする	選択した場合、階層化したメールの場合に階層を辿って添付ファイル有無の判定をします。
	添付されたメールを除く	添付ファイルがメールの場合、階層判定の処理から除外します。
除外ファイルタイプ	無効にする	選択した場合、階層化したメールの場合に階層を辿って添付ファイル有無の判定をしません。
	プレーンテキスト	コンテンツタイプが「text/plain」でファイル名無しの部分を除外
	HTML	コンテンツタイプが「text/html」でファイル名無しの部分を除外
	インライン	インライン (P89 POINT 参照)のコンテンツタイプが「image/*」のファイルを除外

● Microsoft Outlook リッチテキスト形式（TNEF 形式）対応

[有効にする]にチェックを入れると、添付ファイル保護の動作適用時、Outlook のリッチテキスト形式の添付ファイル(winmail.dat)の場合、“winmail.dat”内のオリジナルメッセージの添付ファイルを抽出し、添付ファイル保護処理をします。

“winmail.dat”に抽出対象の添付ファイルが含まれない場合、受信したメールのまま配送します。(スルー動作と同様)

POINT

- ・ 抽出元ファイルの Content-Type が "application/ms-tnef" の場合に、抽出処理対象と判断します。(ファイル名には依存しません。)
- ・ (添付ファイル有りの場合) 抽出処理後の受信者へ配送されるメールは、プレーンテキスト本文と添付ファイル保護処理されたオリジナルメッセージの添付ファイルになります。
- ・ オリジナルメッセージの添付ファイル以外の書式付きメッセージ(RTF)や本文への埋め込み画像、埋め込みの Microsoft Office 文書などの OLE オブジェクトは抽出対象外となり、破棄します。Outlook 特有機能(カスタムフォーム、投票ボタン等)についても無効化されます。
- ・ レポート検索およびメール確認画面において、抽出処理を行ったメールの添付ファイル名の表示は、「抽出元ファイル名 + ">" + (改行) + 抽出したファイル名」になります。

CAUTION

- ・ オリジナルメッセージの添付ファイル名が日本語、英語以外の場合、ファイル名が文字化けする可能性があります。
- ・ 暗号化もしくはダウンロード URL 化の添付ファイル保護処理の適用時のみ有効となりますので、抽出元のファイル(winmail.dat)が除外ファイルタイプにて添付ファイル保護処理対象から除外されている場合、本機能は適用されません。
- ・ 暗号化時のオプション「メール全体を暗号化する」が有効な場合、本機能は適用されません。
- ・ 抽出対象となるオリジナルメッセージの添付ファイルに対するルール判定や除外ファイルタイプ判定の処理は行いません。
- ・ 抽出対象のファイルが破損している、形式が不正で抽出処理に失敗する場合、メール送信エラーになります。

● ブロック通知メール

ブロックの処理を通知するメール内容に関する設定を行います。

差出人	通知メールを送信する際の送信元メールアドレスを 256 文字以内で指定します。
サブジェクト	メールの件名を 100 文字以内で指定します。
本文	通知メールの本文を 10,000 文字以内で指定します。
文字コード	ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。

CAUTION

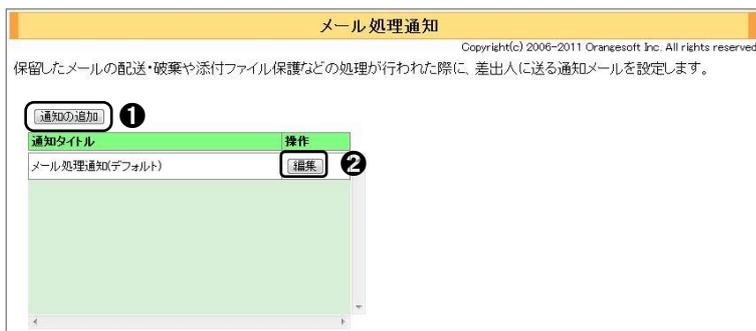
- ・ 本機能はブロック機能が有効な場合に表示されます。
- ・ 差出人は製品出荷状態では設定されていません。差出人の設定が空の場合、通知メールの送信に失敗しますので、ブロック通知をご利用の際は必ず設定してください。

グループ管理メニュー

ブロック通知メールのサブジェクト、本文(*本文のみ)には以下に示す変数を埋め込むことができます。

変数	内容
\$MAIL_ID	メール処理 ID
\$DATE	オリジナルメールの日時 (Date ヘッダー)
\$SUBJECT	処理した電子メールのサブジェクト
\$RULE_ID	ルール ID
\$RULE_TITLE	ルールのタイトル
\$TO*	送信先メールアドレス (*メール本文でのみ利用可)
\$FROM	差出人メールアドレス
\$ATTACHMENT*	添付ファイル名
\$IP_ADDRESS	メール送信元の IP アドレス
\$MAIL_SIZE	メールサイズ
\$HEADER*	メールヘッダー情報

メール処理通知



保留後の配送・破棄、添付ファイル保護やBCC化処理した際に差出人に送信される通知メールに関する設定を行います。本通知は複数定義することが可能で、処理内容に応じて通知メールを変更することができます。

POINT

初期状態で用意されている[メール処理通知(デフォルト)]は、追加の通知がない場合または追加された通知の対象動作以外の場合に使用されるメール処理通知で編集のみ行うことができます。

CAUTION

本機能は保留・暗号化・ダウンロードURL・BCC化機能のいずれかが有効な場合に表示されます。

● メール処理通知の追加・編集 0

1 メール処理通知を追加するには、①<通知の追加>ボタンをクリックします。登録されている通知を編集するには、②<編集>ボタンをクリックします。

2

表示された項目を入力または編集し<登録>ボタンをクリックします。

CAUTION

メール処理通知設定の追加および編集後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.13)をご覧ください。

グループ管理メニュー

対象動作	メール処理通知の送信対象となる動作を選択します。(複数選択可)	
	保留後の配送	メール保留後の処理が配送処理のみの場合に通知され ます。
	保留後の破棄	メール保留後に破棄された場合に通知されま す。
	暗号化	(保留有無に関係なく)暗号化のみ処理が行われ た場合に通知されます。
	ダウンロード URL	(保留有無に関係なく)ダウンロード URL 化の み処理が行われた場合に通知されます。
	BCC 化	(保留有無に関係なく)BCC 化のみ処理が行 われた場合に通知されます。
	暗号化とダウンロード URL	(保留有無に関係なく)暗号化とダウンロード URL 化の両方の処理が行われた場合にのみ通知され ます。
	暗号化と BCC 化	(保留有無に関係なく)暗号化と BCC 化の両 方の処理が行われた場合にのみ通知されま す。
	ダウンロード URL と BCC 化	(保留有無に関係なく)ダウンロード URL 化と BCC 化の両方の処理が行われた場合にのみ通 知されます。
	暗号化とダウンロード URL と BCC 化	(保留有無に関係なく)暗号化とダウンロード URL と BCC 化の 3 つの処理が行われた場合にのみ 通知されます。
通知タイトル	通知のタイトルを 100 文字以内指定します。	
通知先	通知メールの送信先を指定します。	
	エンベロープ FROM	処理したメールのエンベロープの送信者が送 信先になります。
	From ヘッダー	処理したメールのヘッダーの送信者が送信 先になります。
差出人	通知メールの送信者を指定します。	
	処理したメールの差出人メールアドレス	処理したメールの送信元メールアドレスが送 信者アドレスになります。
	指定アドレス	指定したメールアドレスが送信者アドレスに なります。メールアドレスは 256 文字以内で 入力します。
サブジェクト	メールの件名を 100 文字以内で指定します。	
本文	通知メールの本文を 10,000 文字以内で指 定します。	
動作情報表示形式 (日本語用)	日本語用の処理された動作の情報やパスワ ード情報などの表示形式を指定します。	
動作情報表示形式 (英語用)	英語用の処理された動作の情報やパスワ ード情報などの表示形式を指定します。	
文字コード	ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択し ます。	
メール形式	プレーンテキストもしくは HTML を選 択します。	

POINT

対象動作の複数選択は、「Ctrl」キーあるいは、「Shift」キーを利用します。連続した値を選択する際は「Shift」キーを押したまま選択範囲の最初と最後をクリックしてください。また連続しない値を複数選択する際は「Ctrl」キーを押したまま値をクリックしてください。

グループ管理メニュー

メール処理通知メールのサブジェクト、本文およびパスワード表示形式には、次に示す変数を埋め込むことができます。

●メール処理通知のサブジェクト、本文(*本文のみ)に使用可能な変数一覧

変数	内容
\$MAIL_ID	メール処理 ID
\$DATE	オリジナルメールの日時(Date ヘッダー)
\$SUBJECT	処理した電子メールのサブジェクト
\$MAIL_SIZE	メールサイズ
\$PASS_INFO*	送信先ごとの動作情報。[動作情報表示形式]で設定された書式に展開されます。 動作情報形式(日本語用・英語用)の選択可能(日本語:\$PASS_INFO-JA、英語:\$PASS_INFO-EN)。指定なしの場合は動作情報形式(日本語用)となります。
\$WEB_URL	メール確認画面の URL。保留しているメールの操作や、パスワード通知メールの送信を行う画面の URL が挿入されます。
\$AUTOPASS_CANCEL	自動パスワード通知をキャンセルする URL。英語・日本語表記の選択可能(日本語:\$AUTOPASS_CANCEL-JA、英語:\$AUTOPASS_CANCEL-EN)。指定なしの場合は日本語表記となります。
\$SENDPASS_ALL	パスワード未通知の受信者にパスワードを通知する URL。英語・日本語表記の選択可能(日本語:\$SENDPASS_ALL-JA、英語:\$SENDPASS_ALL-EN)。指定なしの場合は日本語表記となります。
\$DISCARD_COMMENT*	保留されたメールを破棄する際に入力されるコメント
\$COMMON_PASSWORD	送信先共通のパスワード
\$COMMON_ENC_FILENAMES	暗号化されたファイル名

●動作情報表示形式に使用可能な変数一覧

変数	内容
\$ACTION	処理種別キーワード。英語・日本語表記の選択可能(日本語:\$ACTION-JA、英語:\$ACTION_EN)。指定なしの場合は日本語表記となります。
\$RCPT_TO	送信先メールアドレス CAUTION 送信先ごとの動作情報判別のために、本変数は必ず定義してください。
\$OUT_SUBJECT	メールのサブジェクト(メール処理後)
\$PASSWORD	送信先ごとのパスワード
\$ENC_FILENAMES	暗号化されたファイル名
\$ENC_DETAILS	暗号化ファイルの内容
\$DOWNLOAD_URL	ダウンロード画面の URL
\$DOWNLOAD_RCPT_URL	ID(受信者メールアドレス)入力不要のダウンロード画面の URL
\$DOWNLOAD_NOPASS_RCPT_URL	ID(受信者メールアドレス)およびパスワード入力不要のダウンロード画面の URL
\$DOWNLOAD_DETAILS	ダウンロードファイルの内容

グループ管理メニュー

\$AUTO_SEND

送信先ごとのパスワードの自動通知機能(有効な場合は ON、無効な場合は OFF が挿入されます。)

POINT

メール確認画面およびダウンロード画面の URL は、送信メールごとに生成される推測困難なワンタイム URL になります。

CAUTION

システム管理メニューの[ウェブ設定]にある[WEB サーバー]が未設定の場合、変数「\$WEB_URL」「\$DOWNLOAD_URL」「\$DOWNLOAD_RCPT_URL」は正しく挿入されません。これらの変数を利用する場合は、必ず事前に[WEB サーバー]の設定を行ってください。

尚、製品出荷状態では[WEB サーバー]は設定されていません。

CAUTION

次のキーワードは保留機能が有効な場合に表示されます。

- \$DISCARD_COMMENT

次のキーワードは暗号化機能が有効な場合に表示されます。

- \$ENC_FILENAMES
- \$ENC_DETAILS

次のキーワードはダウンロード URL 機能が有効な場合に表示されます。

- \$DOWNLOAD_URL
- \$DOWNLOAD_RCPT_URL
- \$DOWNLOAD_DETAILS

次のキーワードは暗号化もしくはダウンロード URL 機能が有効な場合に表示されます。

- \$AUTOPASS_CANCEL
- \$SENDPASS_ALL
- \$PASSWORD
- \$AUTO_SEND

保留オプション

保留オプション設定

Copyright © Omnicast Inc. All rights reserved.

第三者チェック対象

メールの送信先の中から第三者として保留通知や保留メールを送信します。
メールアドレスの一覧から第三者として保留通知や保留メールを送信するアドレスを選択してください。

保留中のメールに対する配送操作

保留中のメールに対する配送操作の許可を設定します。
発出者と第三者として指定された第三者のそれぞれに設定することが出来ます。

発出者: 配送操作を許可する
第三者: 配送操作を許可する

メール内容再確認

保留中のメールを送信する時に、メールを確認する期間を行います。期間に正確に記述することができません。

配送する時に質問する

質問/確認する内容を設定します。

質問見出し:
メール内容(送信先)を確認するかどうかを自動的に以下の質問に回答してください。

質問見出し(英語):
Please answer the following questions in order to confirm them.

質問内容の選択: 送信先のメールアドレス
 送信元の数
 サブジェクト
 添付ファイルの有無
 外部リンク

保留通知メール

保留通知が行われた際に送信する通知を設定します。

通知先: エンベロープFROM
 Fromヘッダー

発出人(From):

サブジェクト(発出人宛):

サブジェクト(第三者宛):

本文:

【保留情報】
 保留日時: [RELEASE_DATE]
 保留中の処理: [RELEASE_ACTION]
 【メール確認結果】
 [WEB_HTML]

<利用可能なタグ>
 [MAIL_ID] メールID
 [DATE] 保留の日付(Fromヘッダーの日付)
 [SUBJECT] 保留のサブジェクト
 [EMAIL_SIZE] メールサイズ
 [MAIL_FROM] 発出人メールアドレス
 [PROPT_TO] 送信先メールアドレス
 [RELEASE_DATE] 保留日時
 [RELEASE_ACTION] 保留中の処理 (登録設定例: [RELEASE_ACTION=AU] [RELEASE_ACTION=EN])
 [WEB_HTML] メール確認結果
 [SCHEMID] 保留メール宛先する操作 (登録設定例: [SCHEMID=AU] [SCHEMID=EN])
 [SCHEMID_COMMENT] 保留メール宛先する操作 (登録設定例: [SCHEMID=AU] [SCHEMID=EN])

文字コード: ISO-2022-JP
 UTF-8

メール形式: プレーンテキスト
 HTML

元メールの添付: 第三者に元のメールを添付する

保留リマインド

保留リマインドメッセージを設定します。
送信間隔や送信回数、保留中のメールを送信します。

送信間隔: 分 送信回数: 回
 経過時間: 分 送信回数: 回

保留リマインドメール

保留通知が経過した際に送信するメールを設定します。

通知先: エンベロープFROM
 Fromヘッダー

発出人(From):

サブジェクト(発出人宛):

サブジェクト(第三者宛):

本文:

【付帯メール情報】
 保留日時: [RELEASE_DATE]
 保留中の処理: [RELEASE_ACTION]
 【メール確認結果】
 [WEB_HTML]

<利用可能なタグ>
 [MAIL_ID] メールID
 [DATE] 保留の日付(Fromヘッダーの日付)
 [SUBJECT] 保留のサブジェクト
 [EMAIL_SIZE] メールサイズ
 [MAIL_FROM] 発出人メールアドレス
 [PROPT_TO] 送信先メールアドレス
 [RELEASE_DATE] 保留日時
 [RELEASE_ACTION] 保留中の処理 (登録設定例: [RELEASE_ACTION=AU] [RELEASE_ACTION=EN])
 [WEB_HTML] メール確認結果
 [SCHEMID] 保留メール宛先する操作 (登録設定例: [SCHEMID=AU] [SCHEMID=EN])
 [SCHEMID_COMMENT] 保留メール宛先する操作 (登録設定例: [SCHEMID=AU] [SCHEMID=EN])

文字コード: ISO-2022-JP
 UTF-8

送信オプション: 保留メール(配送)時に送信しない
 保留メール(保留)時に送信しない
 保留解除操作を行うユーザーへ送信しない

第三者宛保留解除通知メール

保留解除時に第三者宛に送信するメールを設定します。

発出人(From):

サブジェクト(第三者宛):

本文:

【付帯メール情報】
 保留日時: [RELEASE_DATE]
 保留中の処理: [RELEASE_ACTION]
 【メール確認結果】
 [WEB_HTML]

<利用可能なタグ>
 [MAIL_ID] メールID
 [DATE] 保留の日付(Fromヘッダーの日付)
 [SUBJECT] 保留のサブジェクト
 [EMAIL_SIZE] メールサイズ
 [MAIL_FROM] 発出人メールアドレス
 [PROPT_TO] 送信先メールアドレス
 [RELEASE_DATE] 保留日時
 [RELEASE_ACTION] 保留中の処理 (登録設定例: [RELEASE_ACTION=AU] [RELEASE_ACTION=EN])
 [WEB_HTML] メール確認結果
 [SCHEMID] 保留メール宛先する操作 (登録設定例: [SCHEMID=AU] [SCHEMID=EN])
 [SCHEMID_COMMENT] 保留メール宛先する操作 (登録設定例: [SCHEMID=AU] [SCHEMID=EN])

文字コード: ISO-2022-JP
 UTF-8

保留処理に関する設定を行います。新規設定または設定変更後<登録>ボタンをクリックすると、設定内容が登録されます。

CAUTION

保留オプション設定の登録および変更後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.13)をご覧ください。

● 第三者チェック対象

メール送信先の中から第三者とみなし、保留通知メールを送信する対象をメールアドレスで指定します。

メールアドレスの指定には、ワイルドカード(半角文字の"*")が使用できます。また複数のメールアドレスを入力する場合、改行し、1行1アドレスを指定します。

POINT

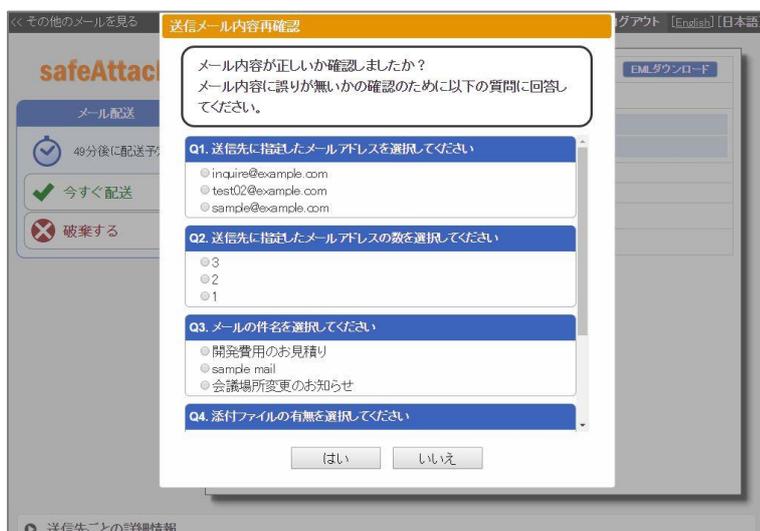
保留ルールオプション「第三者チェック対象」に保留通知を送る]における[第三者チェック対象]が本設定で指定されたドメインやメールアドレスになります。

● 保留中のメールに対する配送操作

保留中のメールに対する配送操作の許可・不許可を設定します。

差出人: 配送操作を許可する	チェックを入れると差出人本人が配送操作を行うことができます。
第三者: 配送操作を許可する	チェックを入れると第三者が配送操作を行うことができます。

● メール内容再確認



本機能を有効にすることで、メール確認画面での保留中のメールの配送操作前に警告文やメールに関する質問をダイアログで表示することができます。表示する内容に関する設定を行います。

配送する時に質問する	チェックを入れると保留解除前にメールに関する確認ダイアログを表示することができます。
質問見出し	メール確認画面を「日本語」表示にしている場合、表示される見出し文になります。見出し文は、10,000文字以内で入力します。
質問見出し(英語)	メール確認画面を「英語」表示にしている場合、表示される見出し文になります。見出し文は、10,000文字以内で入力します。
質問内容の選択	チェックを入れると、項目の質問をダイアログに表示することができます。
送信先のメールアドレス	送信先に含まれる正しいメールアドレスを選択する3択の質問が表示されます。質問文:「送信先に指定したメールアドレスを選択してください」
送信先の数	正しい送信先数を選択する3択の質問が表示されます。質問文:「送信先に指定したメールアドレスの数を選択してください」

グループ管理メニュー

サブジェクト	正しい件名を選択する3択の質問が表示されます。 質問文:「メールの件名を選択してください」
添付ファイルの有無	添付ファイルの有無を選択する2択の質問が表示されます。 質問文:「添付ファイルの有無を選択してください」
外部ドメイン	宛先に含まれるドメインの種類*1を選択する3択の質問が表示されます。 質問文:「メールを送信する相手(ドメイン)の種類を選択してください」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: black; color: white; margin: 0;">POINT</p> <p>*1 選択肢は以下の通りです。 自ドメインのみ: 宛先に送信者と異なるドメインを一つも含まない 単一外部ドメイン: 宛先に送信者と異なるドメインを一つ含む 複数外部ドメイン: 宛先に送信者と異なるドメインを2つ以上含む</p> </div>

● 保留通知メール

保留した処理を通知する保留通知メール内容に関する設定を行います。

通知先	保留通知メールの送信先を指定します。	
	エンベロープ FROM	処理したメールのエンベロープの送信者が送信先になります。
	From ヘッダー	処理したメールのヘッダーの送信者が送信先になります。
差出人	保留通知メールの送信者を指定します。	
	保留したメールの差出人メールアドレス	保留したメールの送信元メールアドレスが送信者アドレスになります。
	指定アドレス	指定したメールアドレスが送信者アドレスになります。メールアドレスは 256 文字以内で入力します。
サブジェクト(差出人宛)	差出人用のメールの件名を 100 文字以内指定します。以下に示す変数(キーワード)を使用できます。	
サブジェクト(第三者宛)	送信者/差出人と第三者とで異なるサブジェクトを指定したい場合に、第三者用のメールの件名を 100 文字以内で指定します。以下に示す変数(キーワード)を使用できません。	
本文	通知メールの本文を 10,000 文字以内で指定します。	
文字コード	ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。	
メール形式	プレーンテキストもしくは HTML を選択します。	
元メールの添付	チェックを入れると、第三者宛の保留通知に元メールを添付することができます。	

保留通知メールのサブジェクト、本文(*本文のみ)に以下に示す変数を埋め込むことができます。

変数	内容
\$MAIL_ID	メール処理 ID
\$DATE	オリジナルメールの日時(Date ヘッダー)
\$SUBJECT	メールの件名
\$MAIL_FROM	差出人メールアドレス
\$RCPT_TO*	送信先メールアドレス
\$RELEASE_DATE	保留期限
\$RELEASE_ACTION	保留後の処理

グループ管理メニュー

	英語・日本語表記の選択可能(日本語:\$RELEASE_ACTION-JA、英語:\$RELEASE_ACTION_EN)。指定なしの場合は日本語表記となります。
\$WEB_URL	メール確認画面 URL
\$DELIVER	保留メールを配送する操作 英語・日本語表記の選択可能(日本語:\$DELIVER-JA、英語:\$DELIVER-EN)。指定なしの場合は日本語表記となります。
\$DISCARD	保留メールを破棄する操作 英語・日本語表記の選択可能(日本語:\$DISCARD-JA、英語:\$DISCARD-EN)。指定なしの場合は日本語表記となります。

CAUTION

メールアドレスの設定がされていない場合、保留ルールで「第三者チェック対象」に保留通知を送る機能の有効とした場合でも保留通知メールは送信されません。また、社外や組織外など外部のメールアドレスが含まれるような指定をした場合、保留通知メールが外部へ送信されますのでご注意ください。

● 保留リマインド

保留解除されていないことを通知する保留リマインドメールを送信する場合の送信間隔や送信回数の設定を行います。

送信タイミング	経過時間	リマインドメールを1回目に送信するまでの時間を設定します。保留されてからの経過時間 1~720 分の間で指定します。送信回数が2回以上の場合、リマインドメールの送信間隔も同じ設定時間になります。
	送信回数	送信する回数を 1~99 の間で設定します。

POINT

保留リマインドの送信タイミングの設定は2つ登録が可能です。経過時間によって、リマインド通知の送信間隔を変更したい場合などに利用などに利用します。登録した2つの送信タイミングの通知時間が重なった場合には、送信回数はどちらもカウントされますが、リマインドメールは1通しか送信されません。

例) ①経過時間:10分、送信回数:6回 ②経過時間:30分、送信回数:10回

0:00 保留

0:10 ①通知1回目

0:20 ①通知2回目

0:30 ①通知3回目、②通知1回目 → リマインドメール1通のみ

0:40 ①通知4回目

0:50 ①通知5回目

1:00 ①通知6回目、②通知2回目 → リマインドメール1通のみ

1:30 ②通知3回目

以降、30分おきに指定回数10回までリマインド通知

また、保留リマインドメールは設定された時間や回数に達する前に保留解除が実施された場合、それ以降の通知はありません。

● 保留リマインドメール

保留解除されていないことを通知する保留リマインドメールに関する設定を行います。

通知先	保留リマインドメールの送信先を指定します。	
	エンベロープ FROM	処理したメールのエンベロープの送信者が送信先になります。
	From ヘッダー	処理したメールのヘッダーの送信者が送信先になります。
差出人	保留リマインドメールの送信者を指定します。	
	メールの差出人メールアドレス	保留したメールの送信元メールアドレスが送信者アドレスになります。
	指定アドレス	指定したメールアドレスが送信者アドレスになります。メールアドレスは 256 文字以内で入力します。
サブジェクト(差出人宛)	差出人用のメールの件名を 100 文字以内で指定します。以下に示す変数(キーワード)を使用できます。	
サブジェクト(第三者宛)	送信者/差出人と第三者とで異なるサブジェクトを指定したい場合に、第三者用のメールの件名を 100 文字以内で指定します。以下に示す変数(キーワード)を使用できます。	
本文	通知メールの本文を 10,000 文字以内で指定します。	
文字コード	ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。	
メール形式	プレーンテキストもしくは HTML を選択します。	

保留リマインドメールのサブジェクト、本文(*本文のみ)に以下に示す変数を埋め込むことができます。

変数	内容
\$MAIL_ID	メール処理 ID
\$DATE	オリジナルメールの日時(Date ヘッダー)
\$SUBJECT	メールの件名
\$MAIL_FROM	差出人メールアドレス
\$RCPT_TO*	送信先メールアドレス
\$RELEASE_DATE	保留期限
\$RELEASE_ACTION	保留後の自動処理 英語・日本語表記の選択可能(日本語:\$RELEASE_ACTION-JA、英語:\$RELEASE_ACTION_EN)。指定なしの場合は日本語表記となります。
\$WEB_URL	メール確認画面 URL

CAUTION

保留リマインドメールは、基本的に保留通知の宛先へ送信されますが、差出人に対しては保留通知が送信されていない場合にも送信されます。

● 第三者宛保留解除通知メール

第三者宛に保留が解除されたことを通知する第三者宛保留解除通知メールの内容に関する設定を行います。

差出人	第三者宛保留解除通知の送信者を指定します。	
	メールの差出人メールアドレス	保留したメールの送信元メールアドレスが送信者アドレスになります。
	指定アドレス	指定したメールアドレスが送信者アドレスになります。メールアドレスは 256 文字以内で入力します。
サブジェクト(第三者宛)	メールの件名を 100 文字以内で指定します。以下に示す変数(キーワード)を使用できます。	
本文	通知メールの本文を 10,000 文字以内で指定します。	
文字コード	ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。	
送信オプション	以下の送信オプションを選択します。	
	保留メール「配送」時に送信しない	チェックを入れると、保留メールが配送された場合に通知されません。
	保留メール「破棄」時に送信しない	チェックを入れると、保留メールが破棄された場合に通知されません。
	保留解除操作を行ったユーザーへ送信しない	チェックを入れると、保留メールの解除操作を行った第三者当人へ通知されません。

第三者宛保留解除通知メールのサブジェクト、本文(*本文のみ)に以下に示す変数を埋め込むことができます。

変数	内容
\$MAIL_ID	メール処理 ID
\$DATE	オリジナルメールの日時(Date ヘッダー)
\$SUBJECT	メールの件名
\$MAIL_SIZE	メールサイズ
\$MAIL_FROM	差出人メールアドレス
\$RCPT_TO*	送信先メールアドレス
\$RELEASE_DATE	保留期限
\$ACTION	保留解除後の処理 英語・日本語表記の選択可能(日本語:\$ACTION-JA、英語:\$ACTION_EN)。指定なしの場合は日本語表記となります。
\$WEB_URL	メール確認画面 URL
\$DISCARD_COMMENT	保留されたメールを破棄時に入力されたコメント

暗号オプション

暗号オプション設定 Copyright© OrangeSoft Inc. All rights reserved

暗号化ファイルの接頭辞
暗号化されて添付されるファイル名の接頭辞です。
暗号化ファイルの接頭辞:

暗号化ファイルの日付フォーマット:
 時間(HHmmss)
 日付(yyyyMMddHHmmss)

暗号化ファイル名の変更
暗号化されて添付されるファイル名を、標準以外に変更する際のファイル名に関する設定を行います。
暗号化ファイルの拡張子:
暗号化ファイルのコンテンツタイプ:

添付ファイルのアーカイブ
暗号化対象の添付ファイルを1つの暗号化ファイル内にまとめることができます。
 暗号化対象の添付ファイルを1つの暗号化ファイルにまとめる

ネストしたメッセージ対応
MIMEパートがネストしているメールにおいて、階層を辿って暗号化対象の判断を行います。
 有効にする (添付されたメールは除く)
 無効にする

メール全体暗号化の本文テキストファイル文字コード
メール全体暗号化で本文テキストファイルに使用する文字コードを設定します。
 シフト_JIS
 UTF-8
 オプション: 文字コード変換前の本文も添付する

ZIPファイルの文字コード
ZIPファイル中のファイル名に使用するデフォルトの文字コードを設定します。

「サブジェクトを隠す」で差し替えるサブジェクト
メール全体暗号化の「サブジェクトを隠す」オプションを有効にした場合に差し替えるサブジェクトを設定します。
 差し替えるサブジェクト (日本語):
 差し替えるサブジェクト (英語):
<ご利用のキーワード>
\$MAIL_ID メール処理ID

暗号化処理に関する設定を行います。新規設定または設定変更後<登録>ボタンをクリックすると、設定内容が登録されます。

CAUTION

暗号オプション設定の登録および変更後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.13)をご覧ください。

● 暗号化ファイルの接頭辞

暗号化後のファイル名に関する設定をします。

暗号化ファイルの接頭辞	暗号化後の添付ファイルのファイル名先頭に付与する文字列を 10 文字以内の半角英数字およびアンダーバー(大文字小文字は区別されます)で指定します。	
暗号化ファイルの日付フォーマット	時間	接頭辞に続く文字列として、時刻(HHmmss)が利用されます。
	日付	接頭辞に続く文字列として、日時(yyyyMMddHHmmss)が利用されます。

POINT

暗号化後の ZIP ファイル名の命名規則は「接頭辞 + 処理時間(HHmmss / yyyyMMddHHmmss) + 暗号化ファイル数 + 拡張子」となります。

● 暗号化ファイル名の変更

暗号化ルールのオプション[暗号化したファイルの拡張子を標準以外に変更する]が有効な場合に利用するファイル名を設定します。

暗号化ファイルの拡張子	拡張子を 50 文字以内の半角英数字(大文字小文字は区別されます)で指定します。ただし"."(ドット)は先頭以外で使用できません。
暗号化ファイルのコンテンツタイプ	コンテンツタイプを半角文字 100 文字以内で指定します。コンテンツタイプについては特に理由がない限り、初期値(application/octet-stream)の状態でご利用されることをおすすめします。

POINT

標準の暗号化 ZIP ファイル名は、拡張子:.zip、コンテンツタイプ:application/x-zip-compressed です。

● 添付ファイルのアーカイブ

暗号化の際の添付ファイルの ZIP アーカイブ方法に関する設定を行います。
「暗号化対象の添付ファイルを 1 つの暗号化ファイルにまとめる」にチェックを入れると、暗号化対象の複数の添付ファイルを 1 つの暗号化 ZIP ファイルにまとめます。チェックが無効な場合には、添付ファイル1つにつき、1 個の ZIP ファイルで暗号化します。

● ネストしたメッセージ対応

このオプションが有効な場合、ネストしている(入れ子階層をしている)MIME パートに対して階層を辿って暗号化対象有無の判定を行います(最大 5 階層)。[添付されたメールは除く] にチェックがある場合には、添付ファイルがメール(MIME パートが message/rfc822)の場合には階層を辿ったチェックから除外されます。

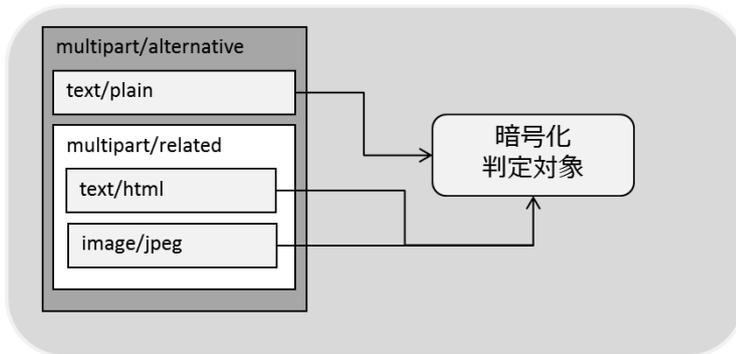
ネストしているパートとして扱う Content-Type は以下のとおりです。

- すべての"multipart"で始まる Content-Type
- "message/partial"を除く([添付されたメールは除く] が有効な場合、message/rfc822 も除外)すべての"message" で始まる Content-Type

無効な場合には、いずれのパートに対しても、階層を辿ったチェックを行わず、最上段のパートの Content-type に対して暗号対象かどうかの判断を行います。

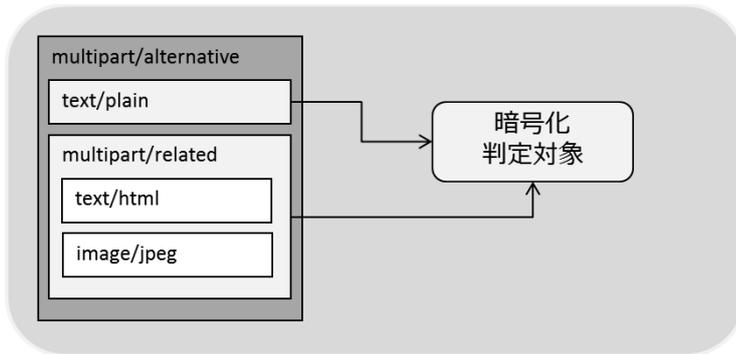
例)(典型的な)インライン画像付き HTML メールにおける暗号化判定対象の違い

[機能が有効な場合]



ネストしているパート“multipart/related”内に存在する子パートの“text/html”および“image/jpeg”に対して暗号化判定が実施されます。“multipart/related”自体は暗号化判定対象より除外されます。

[機能が無効な場合]



ネストしているパート“multipart/related”内に存在するパートに対して暗号化判定は行われません。暗号化有無の判定は親パートの“multipart/related”に対して行われます。

POINT

転送メールなどの添付ファイルとしてメールが添付されている形式のメールの場合に、添付のメール自体を添付ファイルとして扱いたい場合には、[添付されたメールは除く]のチェックを有効にします。逆に添付のメール自体を添付ファイルとして扱わず、添付メール内の添付ファイルに対して、暗号化判定のチェックをしたい場合には、無効化します。

● **メール全体暗号化の本文テキストファイル文字コード**

暗号化ルールによりメール全体(本文+添付ファイル)を暗号化した際、本文のテキストファイルを「シフト JIS」または「UTF-8」のいずれか一方の文字コードにします。オプションの[文字コード変換前の本文も添付する]にチェックを入れると、文字コード変換前の本文(eml ファイル)を本文テキストファイルと一緒に添付します。

POINT

送信するメール本文に日本語・英語以外を利用されている場合や受信者環境が日本語以外のロケールでは、UTF-8 の文字コードを利用します。

● **ZIP ファイルの文字コード**

ZIP ファイル内のファイル名に標準で使用する文字コードをドロップダウンリストより選択します。

POINT

文字コードは暗号化ルールオプションでルールごとに変更することが可能です。

● 「サブジェクトを隠す」で差し替えるサブジェクト

暗号化ルールによりメール全体を暗号化し、さらに「サブジェクトを隠す」オプションが有効になっている場合、サブジェクトを差し替える文字列を設定します。[差し替えるサブジェクト(日本語)]には日本語の差し替え文字列を、[差し替えるサブジェクト(英語)]には英語(半角文字)の差し替え文字列をそれぞれ入力します。差し替え文字列の中に変数「\$MAIL_ID」を利用すると、メール処理 ID が埋め込まれます。

ダウンロードオプション

ダウンロードオプション設定 Copyright(c) Oranessoft Inc. All rights reserved.

標準ダウンロード上限回数

ファイルをダウンロード出来る回数の上限のデフォルトを設定します。この回数はメール確認画面でメールごとに変更することが出来ます。

10 回

変更を有効にする

標準ダウンロード期限

ファイルをダウンロード出来る期限のデフォルトを設定します。この期限はメール確認画面でメールごとに変更することが出来ます。

9 日間

変更を有効にする

ネストしたメッセージ対応

MIMEパートがネストしているメールにおいて、階層を辿ってダウンロードURLにする対象ファイルの判断を行います。

有効にする (添付されたメールは除く)

無効にする

パスワードをロックするまでの回数

連続してパスワードを間違えた際には、ログインできないようにロックさせます。

5 回

無制限

まとめてダウンロード(ZIPファイル)の文字コード

ZIPファイル中のファイル名に使用するデフォルトの文字コードを設定します。

MS932 - Windows 日本語

ダウンロード通知

ファイルがダウンロードされた場合に送信者に通知します。

ダウンロード通知を有効にする

通知先: エンベロープFROM
 Fromヘッダー

差出人(From): メール差出人メールアドレス

サブジェクト:

本文:
【メール確認画面】
\$WEB_URL
【メールサイズ】
\$MAIL_SIZE

<利用可能キーワード>	
\$MAIL_ID	メール処理ID
\$DATE	メールの送信日時(Dateヘッダーの日時)
\$SUBJECT	メールのサブジェクト
\$MAIL_SIZE	メールサイズ
\$MAIL_FROM	差出人メールアドレス
\$WEB_URL	メール確認画面URL
\$DOWNLOAD_ADDRESS	ダウンロードしたアドレス

文字コード: ISO-2022-JP
 UTF-8

ダウンロード処理に関する設定を行います。新規設定または設定変更後<登録>ボタンをクリックすると、設定内容が登録されます。

CAUTION

ダウンロードオプション設定の登録および変更後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.13)をご覧ください。

[ダウンロードオプション設定]画面

● 標準ダウンロード上限回数

メール受信者がファイルをダウンロードできるデフォルトの上限回数を設定します。入力値は1以上1,000回以内で指定します。[変更を有効にする]にチェックを入れると、送信者がメール確認画面でメール単位に変更が可能になります。

● 標準ダウンロード期限

メール受信者がファイルをダウンロードできるデフォルトの期限を設定します。入力値は1日以上グループプロパティの「最大ダウンロード期限」での設定日数以下で指定します。[変更を有効にする]にチェックを入れると、送信者がメール確認画面でメール単位に変更が可能になります。

● ネストしたメッセージ対応

このオプションが有効な場合、ネストしている(入れ子階層をしている)MIME パートに対して階層を辿ってダウンロード URL 化の判定を行います(最大 5 階層)。ただし、[添付されたメールは除く]にチェックがある場合には、添付ファイルがメール(message/rfc822)の場合には階層を辿ったチェックは行いません。

ネストしているパートとして扱う Content-Type は以下のとおりです。

- すべての"multipart" で始まる Content-Type
- "message/partial"を除く([添付されたメールは除く]が有効な場合、message/rfc822 も除外)すべての"message" で始まる Content-Type

無効の場合には、いずれのパートに対しても、階層を辿ったチェックを行わず、最上段のパートの Content-type に対してダウンロード URL 化の対象かどうかの判断を行います。

● パスワードをロックするまでの回数

ダウンロード画面へパスワードを間違えてログインロックするまでの回数を設定します。1 以上 100 回以内で指定します。もしくは<無制限>を選択します。

● まとめてダウンロード (ZIP ファイル) の文字コード

まとめてダウンロードする際の ZIP ファイル内のファイル名に使用する文字コードを選択します。

POINT

受信者側でファイルをダウンロードする際、ダウンロード対象のファイルが複数存在する場合には、ZIP ファイルにまとめて一度でダウンロードすることができます。

● ダウンロード通知

[ダウンロード通知を有効にする]をチェックを入れると、受信者がダウンロードしたタイミングで送信者に対し、ダウンロードしたことを知らせるメールを送信することができます。

通知先	ダウンロード通知の送信先を指定します。	
	エンベロープ FROM	処理したメールのエンベロープの送信者が送信先になります。
	From ヘッダー	処理したメールのヘッダーの送信者が送信先になります。
差出人	ダウンロード通知の送信者を指定します。	
	メールの差出人メールアドレス	保留したメールの送信元メールアドレスが送信者アドレスになります。
	指定アドレス	指定したメールアドレスが送信者アドレスになります。メールアドレスは 256 文字以内で入力します。

グループ管理メニュー

サブジェクト	メールの件名を 100 文字以内で指定します。以下に示す変数(キーワード)を使用できません。
本文	通知メールの本文を 10,000 文字以内で指定します。以下に示す変数(キーワード)を使用できます。
文字コード	ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。

メールのサブジェクト、本文に以下に示す変数を埋め込むことができます。

変数	内容
\$MAIL_ID	メール処理 ID
\$DATE	オリジナルメールの日時(Date ヘッダー)
\$SUBJECT	メールの件名
\$MAIL_SIZE	メールサイズ
\$MAIL_FROM	差出人メールアドレス
\$WEB_URL	メール確認画面 URL
\$DOWNLOAD_ADDRESS	ダウンロードした受信者のアドレス

パスワード

パスワード設定
Copyright(C) Onqnetsoft Inc. All rights reserved.

固定パスワード

ルールで設定する固定パスワードに関する設定を行います。

最低文字数:

最大文字数:

ランダムパスワード

自動で生成されるランダムパスワードに関する設定を行います。

文字数:

文字テーブル:

パスワード送信先の自動選択

メール確認画面のパスワード送信のデフォルト状態を設定します。

パスワード未送信の送信先を自動的に選択する

自動パスワード通知

自動的にパスワードを通知する機能の設定を行います。
この機能はルールごと有効にすることが出来ます。

自動通知待ち時間: 分

差出人にもCcで通知する

パスワード通知の選択

メール確認画面でパスワード通知を選択できるようにする設定です。

メール確認画面でパスワード通知を選択可能にする

メール内容再確認

パスワードを通知する時に、メールに関する質問を行います。質問に正しくないとはパスワード通知することができません。

パスワードを通知する時に質問する

質問に関する内容を設定します。

質問見出し:

質問見出し(英語):

質問内容の選択: 送信先のメールアドレス
 送信先の数
 サブジェクト
 添付ファイルの有無
 外部ドメイン

パスワード通知リマインド

パスワード通知リマインドのタイミングを設定します。
設定時間を経過した場合にリマインドメールを送信します。

送信タイミング 経過時間: 分 送信回数: 回

経過時間: 分 送信回数: 回

パスワード通知リマインドメール

パスワード通知時間が経過した場合に送信するメールを設定します。

通知先: エンベロープFROM
 Fromヘッダー

差出人(From):

サブジェクト:

本文:

【対象メール情報】
 送信日時: \$DATE
 サブジェクト: \$SUBJECT

【メール確認画面】
 \$WEB_URL

<利用可能キーワード>
 \$MAIL_ID メール処理ID
 \$DATE メールの送信日時(Dateヘッダーの日時)
 \$SUBJECT メールのサブジェクト
 \$MAIL_SIZE メールサイズ
 \$MAIL_FROM 差出人メールアドレス
 \$RCPT_TO 送信先メールアドレス
 \$WEB_URL メール確認画面URL

文字コード: ISO-2022-JP
 UTF-8

添付ファイル保護ルールに使われるパスワードに関する設定を行います。設定または変更後<登録>ボタンをクリックすると、設定内容が登録されます。

CAUTION

パスワード設定の登録および変更後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.13)をご覧ください。

● 固定パスワード

添付ファイル保護ルールに使用する固定パスワードに関する設定を行います。

最小文字数	固定パスワードに使う文字数の最小値(6以上)を指定します。
最大文字数	固定パスワードに使う文字数の最大値(100以下)を指定します。

● ランダムパスワード

添付ファイル保護ルールに使用するランダムパスワードに関する設定を行います。

文字数	生成するパスワードの文字数(桁数)を指定します(6以上100以下の範囲)。
文字テーブル	パスワードに使用する文字を15文字以上で指定します。(同種文字の2回以上指定は不可)

POINT

固定パスワードとランダムパスワードについて

固定パスワードとは、発信者が指定した任意の文字列をパスワードとして毎回利用することです。一方、ランダムパスワードはシステムが自動的に生成するものです。

固定パスワードは、送信先に毎回パスワードを通知する必要がないので利便性は高くなりますが、安全性は低くなります。ランダムパスワードは、文字テーブルで指定された文字を使ってシステムが自動的にパスワードを生成するため、安全性は高くなります。

CAUTION

パスワードに使用できる文字種は次のとおりです。

abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789._+!@%&

● パスワード未通知者へ一括通知

[パスワード未通知者へ一括通知]をチェックを入れると、メール確認画面で未送信の送信先に一括してパスワード通知を送信する機能が有効となり、一括送信ボタンが表示されます。一方、本設定が無効の場合はパスワード通知を送るために送信先を1つずつ選択して送信する必要があります。

● 自動パスワード通知

受信者に自動的にパスワードを通知する設定を行います。この設定は、ルールごとに有効または無効に指定することができます。

自動通知待ち時間	受信者に自動的に通知されるパスワード通知メールの待機時間を0~60分の範囲で指定します。
差出人にもCcで通知する	チェックを入れると、送信元にもパスワード通知メールが送信されます。

POINT

自動通知待ち時間を0分に設定することで、パスワード通知を即時に行うことができます。

● パスワード通知の選択

メール確認画面において送信者がパスワード通知の選択有無について設定を行います。

[メール確認画面でパスワード通知を選択可能にする]にチェックを入れると、パスワード通知を複数定義している場合、送信者がメール確認画面で通知の選択をすることができます。

● メール内容再確認

本機能を有効にすることで、手動でのパスワード通知操作前に警告文やメールに関する質問をダイアログで表示することができます。表示する内容に関する設定を行います。

パスワードを通知する時に質問する	チェックを入れるとパスワード通知前にメールに関する確認ダイアログを表示することができます。
質問見出し	メール確認画面を「日本語」表示にしている場合、表示される見出し文になります。見出し文は、10,000 文字以内で入力します。
質問見出し(英語)	メール確認画面を「英語」表示にしている場合、表示される見出し文になります。見出し文は、10,000 文字以内で入力します。
質問内容の選択	チェック入れると、項目の質問をダイアログに表示することができます。
送信先のメールアドレス	送信先に含まれる正しいメールアドレスを選択する3択の質問が表示されます。 質問文:「送信先に指定したメールアドレスを選択してください」
送信先の数	正しい送信先数を選択する3択の質問が表示されます。 質問文:「送信先に指定したメールアドレスの数を選択してください」
サブジェクト	正しい件名を選択する3択の質問が表示されます。 質問文:「メールの件名を選択してください」
添付ファイルの有無	添付ファイルの有無を選択する2択の質問が表示されます。 質問文:「添付ファイルの有無を選択してください」
外部ドメイン	宛先に含まれるドメインの種類*1 を選択する3択の質問が表示されます。 質問文:「メールを送信する相手(ドメイン)の種類を選択してください」

POINT

*1 選択肢は以下の通りです。

- 自ドメインのみ: 宛先に送信者と異なるドメインを一つも含まない
- 単一外部ドメイン: 宛先に送信者と異なるドメインを一つ含む
- 複数外部ドメイン: 宛先に送信者と異なるドメインを2つ以上含む

● パスワード通知リマインド

パスワード通知が送信されていないことを知らせるパスワード通知リマインドメールを送信する場合の送信間隔や送信回数設定を行います。

送信タイミング	経過時間	リマインドメールを 1 回目に送信するまでの時間を設定します。保留されてからの経過時間 1~1440 分の間で指定します。送信回数が 2 回以上の場合、リマインドメールの送信間隔も同じ設定時間になります。
	送信回数	送信する回数を 1~99 の間で設定します。

POINT

送信タイミングの設定は2つ登録が可能です。経過時間によって、リマインド通知の送信間隔を変更したい場合などに利用などに利用します。登録した2つの送信タイミングの通知時間が重なった場合には、送信回数はどちらもカウントされますが、リマインドメールは 1 通しか送信されません。

また、設定された時間や回数に達する前に手動でのパスワード通知が実施された場合には、それ以降の通知はりません。

CAUTION

パスワード通知リマインドは、パスワード通知が自動通知設定になっている場合には送信されません。

● **パスワード通知リマインドメール**

パスワード通知が送信されていないことを知らせるパスワード通知リマインドメールに関する設定を行います。

通知先	パスワード通知リマインドメールの送信先を指定します。	
	エンベロープ FROM	処理したメールのエンベロープの送信者が送信先になります。
	From ヘッダー	処理したメールのヘッダーの送信者が送信先になります。
差出人	パスワード通知リマインドメールの送信者を指定します。	
	メールの差出人メールアドレス	保留したメールの送信元メールアドレスが送信者アドレスになります。
	指定アドレス	指定したメールアドレスが送信者アドレスになります。メールアドレスは 256 文字以内で入力します。
サブジェクト	メールの件名を 100 文字以内で指定します。以下に示す変数(キーワード)を使用できません。	
本文	通知メールの本文を 10,000 文字以内で指定します。以下に示す変数(キーワード)を使用できます。	
文字コード	ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。	

メールのサブジェクト、本文(*本文のみ)に以下に示す変数を埋め込むことができます。

変数	内容
\$MAIL_ID	メール処理 ID
\$DATE	オリジナルメールの日時(Date ヘッダー)
\$SUBJECT	メールの件名
\$MAIL_SIZE	メールサイズ
\$MAIL_FROM	差出人メールアドレス
\$RCPT_TO*	送信先メールアドレス
\$WEB_URL	メール確認画面 URL

パスワード通知



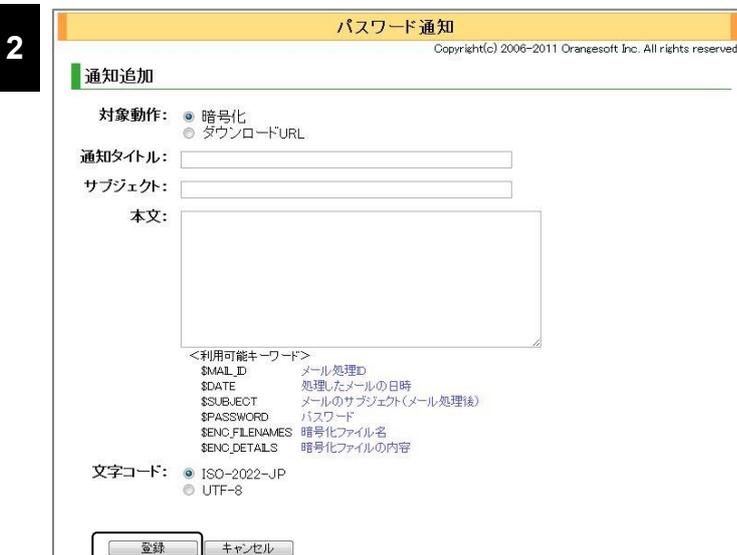
暗号化やダウンロード URL 化した際に受信者に送信するパスワード通知に関する設定を行います。パスワード通知は複数定義することができ、添付ファイル保護ルールの設定でルールごとに通知を選択することが可能です。

CAUTION

本機能は暗号化・ダウンロード URL 化機能のいずれかが有効な場合に表示されます。

● パスワード通知の追加・編集

- 1 パスワード通知を追加するには、①<通知の追加>ボタンをクリックします。登録されている通知を編集するには、②<編集>ボタンをクリックします。



表示された項目を入力または編集し、登録ボタンをクリックします。

CAUTION

パスワード通知設定の追加および編集後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.13)をご覧ください。

対象動作	パスワード通知を選択可能とする対象の動作を選択します。	
	暗号化	暗号化のルールで選択することができます。
	ダウンロード URL	ダウンロード URL 化のルールで選択することができます。
通知タイトル	通知のタイトルを 100 文字以内で指定します。	
サブジェクト	メールの件名を 100 文字以内で指定します。	
本文	通知メールの本文を 10,000 文字以内で指定します。	
文字コード	ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。	

メール処理通知メールのサブジェクト、本文およびパスワード表示形式には、以下に示す変数を埋め込むことができます。

●パスワード通知(サブジェクト、本文)に使用可能な変数一覧

変数	内容
\$MAIL_ID	メール処理 ID
\$DATE	オリジナルメールの日時(Date ヘッダー)
\$SUBJECT	処理した電子メールのサブジェクト
\$PASSWORD	暗号化: 解凍用パスワード ダウンロード URL 化: ダウンロード画面へのログインパスワード
\$ENC_FILENAMES	暗号化後の ZIP ファイル名
\$ENC_DETAILS	暗号化された ZIP ファイルの内容
\$DOWNLOAD_URL	ダウンロード画面 URL
\$DOWNLOAD_RCPT_URL	ID(受信者メールアドレス)入力不要のダウンロード画面 URL
\$DOWNLOAD_NOPASS_RCPT_URL	ID(受信者メールアドレス)およびパスワード入力不要のダウンロード画面 URL
\$DOWNLOAD_DETAILS	ダウンロードファイルの内容

CAUTION

次のキーワードは対象動作が暗号化を選択された場合に表示されます。

- \$ENC_FILENAMES
- \$ENC_DETAILS

次のキーワードは対象動作がダウンロード URL を選択された場合に表示されます。

- \$DOWNLOAD_URL
- \$DOWNLOAD_RCPT_URL
- \$DOWNLOAD_NOPASS_RCPT_URL
- \$DOWNLOAD_DETAILS

除外ファイルタイプ

ファイルタイプ設定
Copyright(c) 2006-2011 Orangesoft Inc. All rights reserved.

除外ファイルタイプ設定

添付ファイル保護の対象から除外するファイルタイプを設定できます。
チェックがされているファイルタイプに一致する添付ファイルは保護されません。
無効にする場合は、チェックを外して登録ボタンを押して下さい。

ファイルタイプの追加

有効	ファイルタイプ	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	TEXT	<input type="button" value="編集"/>
<input type="checkbox"/>	HTML	<input type="button" value="編集"/>

登録 キャンセル

暗号化やダウンロード URL 化の対象から除外するファイルタイプの管理を行います。

CAUTION

ファイルタイプの登録、有効・無効の切り替え、削除の各操作後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、P.13「設定反映について」をご覧ください。

POINT

ファイルタイプには、送信される電子メールのヘッダーおよびボディ内に情報として組み込まれている MIME タイプ(データの種類)と添付ファイルのファイル名を指定します。

登録済みのファイルタイプ[TEXT]の定義内容は、電子メール本文を指しています。したがって、ファイルタイプ[TEXT]を無効にすると、電子メール本文も暗号化およびダウンロード URL の対象となります。

POINT

MIME タイプには次のようなものがあります。

Content-Type	内容
text/html	HTML 形式文書ファイル
text/css	CSS ファイル
application/msword	Microsoft Word 形式文書ファイル
application/zip	zip 形式書庫ファイル
application/pdf	PDF 文書
image/jpeg	JPEG 形式画像データ
image/gif	GIF 形式画像データ
audio/mpeg	mpeg 形式音声データ
video/mpeg	mpeg 形式動画データ
video/quicktime	QuickTime 形式動画データ

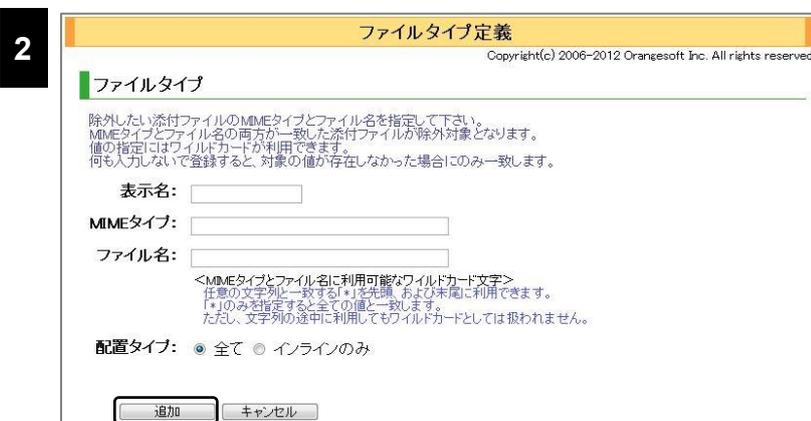
その他、ファイルタイプの詳細に関しては下記の URL を参照してください。

IANA MIME Media Types
<http://www.iana.org/assignments/media-types/>

● 除外ファイルタイプの追加・編集



添付ファイル保護処理から除外するファイルタイプを追加するには、[ファイルタイプ設定]画面で<ファイルタイプの追加>ボタンをクリックします。登録している除外ファイルタイプを編集するには、<編集>ボタンをクリックします。



[ファイルタイプ定義]画面が表示されます。次の表を参考に各項目を入力・編集します。各項目への入力が終了したら<追加>または<変更>ボタンをクリックします。

表示名	[ファイルタイプ設定]画面のリストに表示する名称を 50 文字以内で指定します。
MIME タイプ	除外したい添付ファイルの MIME タイプを 100 文字以内指定します。
ファイル名	除外したい添付ファイルのファイル名を 256 文字以内で指定します。
配置タイプ	全て(配置タイプは関係なし) または インラインのみを選択します。

CAUTION

MIME タイプとファイル名の入力内容は"AND"条件で判断されます。両方の項目に文字列が入力されている場合、その両方の文字列に合致する MIME ヘッダー情報を持つ電子メールのみが判別対象となります。

POINT

配置タイプの「インラインのみ」は、例えば、HTML メールのインライン画像を添付ファイルの画像とは区別して暗号化やダウンロード URL 対象から除外したい場合に利用します。

「インラインのみ」と判定されるのは、以下の場合です。

「親の Content-Type が multipart/related」かつ

MIME ヘッダーの「Content-Disposition が inline」もしくは MIME ヘッダーに「Content-ID が存在する」

POINT

MIME タイプ及びファイル名の指定には、ワイルドカード(半角文字の"*)が使用できます。ワイルドカードを使用することで、以下のような特殊な指定が可能となります。

入力値	内容
未入力	情報が存在しない。あるいは値が空の場合に一致
*のみ	全ての値に一致(値が空の場合も含む)
末尾が*	前方一致
先頭が*	後方一致
前後に*	部分一致
上記以外	完全一致

除外ファイルタイプを無効にする

1

ファイルタイプ設定
Copyright(c) 2006-2011 Orangesoft Inc. All rights reserved.

除外ファイルタイプ設定

添付ファイル保護の対象から除外するファイルタイプを設定できます。チェックが付いているファイルタイプに一致する添付ファイルは保護されません。無効にする場合は、チェックを外して登録ボタンを押して下さい。

ファイルタイプの追加

有効	ファイルタイプ	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	TEXT	[編集]
<input checked="" type="checkbox"/>	HTML	[編集]
<input type="checkbox"/>	JPEG	[編集]

登録 キャンセル

除外するファイルタイプの設定を一時的に無効にできます。[ファイルタイプ設定]画面のリストから、無効にしたいファイルタイプのチェックボックスをクリックし、**①**チェックを外して、**②**<登録>ボタンをクリックします。

2

ファイルタイプ設定
Copyright(c) 2006-2011 Orangesoft Inc. All rights reserved.

除外ファイルタイプ設定

添付ファイル保護の対象から除外するファイルタイプを設定できます。チェックが付いているファイルタイプに一致する添付ファイルは保護されません。無効にする場合は、チェックを外して登録ボタンを押して下さい。

ファイルタイプの追加

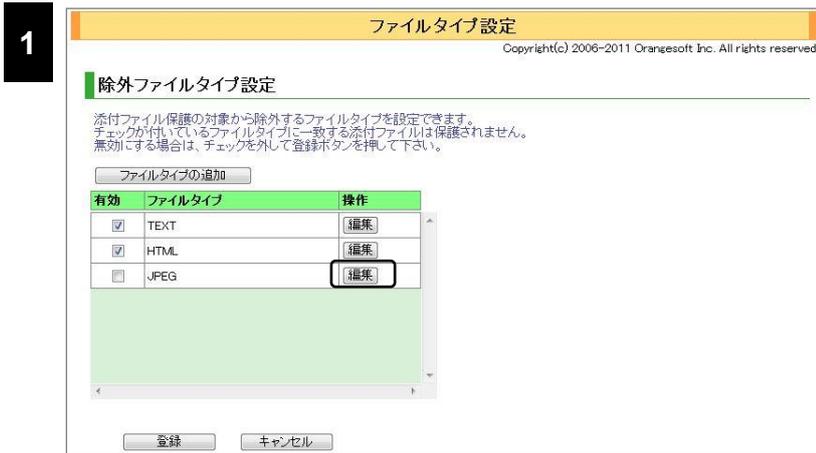
有効	ファイルタイプ	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	TEXT	[編集]
<input checked="" type="checkbox"/>	HTML	[編集]
<input type="checkbox"/>	JPEG	[編集]

登録 キャンセル

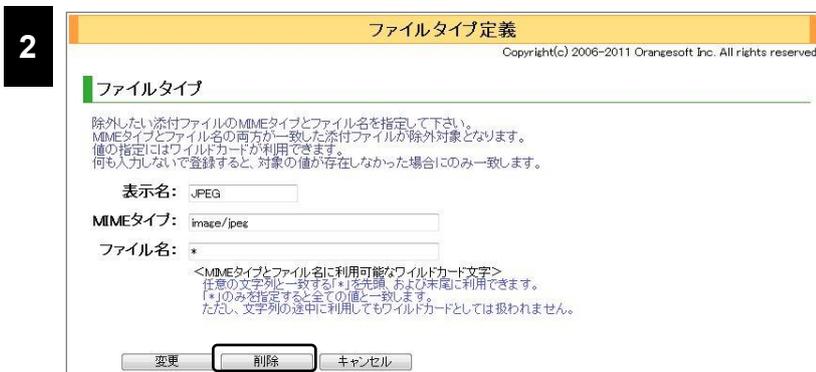
無効になった

<登録>ボタンをクリックするとリストの背景色が暗く変化し、設定が無効になります。

● 除外ファイルタイプを削除する



削除する対象のファイルタイプの [編集] をクリックします。



[ファイルタイプ定義]画面が開いたら、<削除>ボタンをクリックします。

3 確認ダイアログが表示されたら、<OK>ボタンをクリックします。

アクセス制限

アクセス制限設定
Copyright(c) 2006-2011 Orangesoft Inc. All rights reserved.

IPアドレスによるアクセス制限の設定などを行います。
設定した内容は設定反映後に有効になります。

現在のあなたの IP アドレス
192.168.0.11

管理画面アクセス制限

許可ネットワーク: アクセスを許可するネットワークです。改行区切りで複数入力できます。何も入力しなければ全てのアドレスからのアクセスを許可します。

拒否ネットワーク: アクセスを拒否するネットワークです。改行区切りで複数入力できます。ここに指定されたネットワークからのアクセスは、許可ネットワークの範囲内でも拒否されます。

メール確認画面アクセス制限

許可ネットワーク: アクセスを許可するネットワークです。改行区切りで複数入力できます。何も入力しなければ全てのアドレスからのアクセスを許可します。

拒否ネットワーク: アクセスを拒否するネットワークです。改行区切りで複数入力できます。ここに指定されたネットワークからのアクセスは、許可ネットワークの範囲内でも拒否されます。

ダウンロード画面アクセス制限

許可ネットワーク: アクセスを許可するネットワークです。改行区切りで複数入力できます。何も入力しなければ全てのアドレスからのアクセスを許可します。

拒否ネットワーク: アクセスを拒否するネットワークです。改行区切りで複数入力できます。ここに指定されたネットワークからのアクセスは、許可ネットワークの範囲内でも拒否されます。

本管理画面、およびメール確認画面へのアクセス制限の設定を行います。設定後、<登録>ボタンをクリックします。

[アクセス制限設定]画面

CAUTION

「拒否ネットワーク」に登録された IP アドレスは、許可ネットワークの範囲でも拒否されます。設定を誤ると管理画面へアクセスできなくなるおそれがあります。設定には十分ご注意ください。

● 管理画面アクセス制限

本管理画面へのアクセス許可・拒否を設定できます。

許可ネットワーク	本管理画面へのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を「IP アドレス」または「IP アドレス/ネットマスク」の形式で指定します。何も指定しない場合、すべての IP アドレスからのアクセスが許可されます。
拒否ネットワーク	本管理画面へのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を「IP アドレス」または「IP アドレス/ネットマスク」の形式で指定します。ここに指定した IP アドレスからのアクセスを拒否することができます。この設定は「許可ネットワーク」の設定よりも優先されます。

● メール確認画面アクセス制限

メール確認画面へのアクセス許可・拒否を設定できます。

許可ネットワーク	メール確認画面へのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を「IP アドレス」または「IP アドレス/ネットマスク」の形式で指定します何も指定しない場合、すべての IP アドレスからのアクセスが許可されます。
拒否ネットワーク	メール確認画面へのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を「IP アドレス」または「IP アドレス/ネットマスク」の形式で指定します。ここに指定した IP アドレスからのアクセスを拒否することができます。この設定は「許可ネットワーク」の設定よりも優先されます。

● ダウンロード画面アクセス制限

ダウンロード画面へのアクセス許可・拒否を設定できます。

許可ネットワーク	ダウンロード画面へのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を「IP アドレス」または「IP アドレス/ネットマスク」の形式で指定します何も指定しない場合、すべての IP アドレスからのアクセスが許可されます。
拒否ネットワーク	ダウンロード画面へのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を「IP アドレス」または「IP アドレス/ネットマスク」の形式で指定します。ここに指定した IP アドレスからのアクセスを拒否することができます。この設定は「許可ネットワーク」の設定よりも優先されます。

CAUTION

[メール確認画面アクセス制限]は保留・暗号化・ダウンロード URL・BCC 化機能のいずれかが有効な場合に表示されます。

[ダウンロード画面アクセス制限]はダウンロード URL 機能が有効な場合に表示されます。

レポートオプション

レポートオプション設定
Copyright(c) 2006-2011 Orangesoft Inc. All rights reserved.

レポート統計メール

レポート統計の内容を定期的にメールで送信する設定を行います。

集計区分: 日別の統計レポートを送信する
 週別の統計レポートを送信する
 月別の統計レポートを送信する

差出人(From):

送信先:

言語: 日本語 英語

[メール処理]のレポートに関する設定を行います。設定後<登録>ボタンをクリックすると、設定内容が登録されます。

CAUTION

設定の変更後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.13)をご覧ください。

● レポート統計メール

レポート統計の内容を定期的にメールで送信することができます。[集計区分]で送信するレポートの種類を選択し、差出人と送信先を入力します。メールはシステム管理画面の[レポート]で設定されたレポート集計開始時刻(デフォルト:午前3時)の処理終了時に送信されます。

集計区分	日別の統計レポートを送信する	チェックを入れると日別の統計レポートを送信します。
	週別の統計レポートを送信する	チェックを入れると週別の統計レポートを送信します。
	月別の統計レポートを送信する	チェックを入れると月別の統計レポートを送信します。
差出人	送信元メールアドレスを 256 文字以内で入力します。	
送信先	送信先アドレスを入力します改行することで複数の送信先を指定できます。送信先アドレスは改行文字含め 10,000 文字以内で入力します。	
言語	日本語もしくは英語を選択します。	

ユーザーオプション

ログインロックなどユーザーのログインに関する設定を行います。

設定や変更が終了したら<登録>ボタンをクリックします。

CAUTION

設定の変更後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.13)をご覧ください。

● パスワードをロックするまでの回数

パスワード誤入力によりログインがロックされるまでの回数を設定します。

(任意指定)回	ログインロックまでの回数を、1~100 までの数値で指定します。
無期限	ログインロックはされません。

● パスワードのロック期間

ログインロックを自動解除するまでの時間を設定します。

(任意指定)時間	ログインロックを自動解除するまでの時間を、0.1~100.0 までの小数点第一位までの数値で指定します。
無期限	自動ログイン解除はできません。

● ロック通知メール

ログインロックされた際に送信するメールに関する設定を行います。

通知先	ログインロックを通知するメール送信先を指定します。複数の送信先を選択できます。	
	グループ管理者へ通知する	グループ管理者にログインロックの通知を行います。
	ロックしたユーザーへ通知する	パスワードをロックしたユーザーに通知を行います。
	次のメールアドレスへ通知する	入力された電子メールアドレスに、ログインロックの通知を行います。
差出人	ロック通知メールの送信者を指定します。	
	ロックした本人	ロックされた本人が送信者アドレスになります。
	指定アドレス	指定したメールアドレスが送信者アドレスになります。メールアドレスは 256 文字以内で入力します。
サブジェクト	メールの件名を 100 文字以内で指定します。	
本文	通知メールの本文を 10,000 文字以内で指定します。	
文字コード	ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。	

通知メールの件名、本文には、変数を埋め込むことができます。

● ロック通知メールに使用可能な変数一覧

変数	内容
\$DATE	ロックした日時
\$MAIL_ADDR	ロックしたメールアドレス
\$IP_ADDR	ログイン操作を行った端末の IP アドレス
\$USER_AGENT	ログイン操作を行ったブラウザの情報

● ログインパスワード通知メール

グループ管理メニュー[管理]の[ユーザー]でユーザーを登録する際、ログインパスワードを通知するメールの設定を行います。

差出人	通知メールを送信する際の送信元メールアドレスを[登録作業]または指定のアドレスよりを選択します。指定アドレスの場合、メールアドレスは、256 文字以内で入力します。
サブジェクト	メールの件名を 100 文字以内で指定します。
本文	通知メールの本文を 10,000 文字以内で指定します。
文字コード	ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。

通知メールの件名、本文には、変数を埋め込むことができます。

● パスワード通知メールに使用可能な変数一覧

変数	内容
\$DATE	ユーザー登録された日時
\$MAIL_ADDR	ユーザー登録された電子メールアドレス
\$LOGIN_PASS	ログインパスワード
\$ADMIN_MAIL_ADDR	登録作業を行った管理者の電子メールアドレス

管理

ユーザー

ユーザーの登録・削除・変更、状態の確認を行います。ユーザーの情報には、ログイン ID、ログインパスワード、ユーザーのタイプや SMTP 認証情報などが含まれます。

ユーザー一覧

Copyright(c) Orangesoft Inc. All rights reserved.

入力された値と部分一致する電子メールアドレスのユーザーを検索します。
何も入力せずに検索すると全てのユーザーが検索されます。

検索メールアドレス:

グループ管理者のみ ロック状態のみ

番号	電子メールアドレス	タイプ	ロック	機能	操作
----	-----------	-----	-----	----	----

検索する電子メールアドレスを入力して下さい。

[トップへ戻る](#)

[ユーザー一覧]画面

POINT

ユーザーのタイプ

ユーザーのタイプは、以下の3種類存在します。

◆グループ管理者

グループの管理権限を有しており、グループ管理メニュー画面へログインし、メニュー内のすべての設定や送信者全てのメール情報を検索することができます。

◆グループ運用者

メニュー項目[メール処理情報]のみ操作可能な権限を有しています。

◆利用者

ログインパスワードの変更および自身のメール情報のみ検索することができます。

CAUTION

1グループに登録可能なユーザー数の上限は10,000件です。

● ユーザーの登録・編集・削除



① 登録されているユーザーの検索を行います。

検索する電子メールアドレスに含まれる文字列を[検索メールアドレス]欄に入力し、<検索>ボタンをクリックします。

[グループ管理者のみ]にチェックを入れた状態で検索を実行すると、グループ管理者だけが検索対象となります。また、[ロック状態のみ]にチェックを入れると、ログインロック状態のユーザーだけが検索対象となります。

POINT

何も入力せずに<検索>ボタンをクリックすると、登録されているすべてのユーザーが表示されます。

POINT

ログインロックについて

ログイン時、パスワードを間違えるなどして指定した回数を超えてログインに失敗した場合、ログインに使用したID(電子メールアドレス)はロック状態となり、一定期間ログインできなくなります。



ログインに失敗しログインロックがかかると「パスワードはロックされました」と画面が表示される

ログインロックに関する設定は、[設定]→[ユーザーオプション]で行います。(→P.95 参照)

グループ管理メニュー

② 検索したユーザーの結果一覧が表示されます。

番号	検索結果の行番号が表示されます。	
電子メールアドレス	ユーザーのログイン ID(メールアドレス)が表示されます。	
タイプ	ユーザーのタイプ(利用者・グループ管理者・グループ運用者)が表示されます。	
ロック	ロック状態のユーザーには○が表示されます。	
機能	有効な機能のアイコンが表示されます。	
	L	[グループ画面へのログイン] が有効な場合に表示されます。
	B	[上長メールアドレスを常時 BCC 追加] が有効な場合に表示されます。
	R	[ユーザー情報のルール評価利用] が有効な場合に表示されます。
操作	H	[上長メールアドレスへの保留通知送信] が有効な場合に表示されます。
	各ユーザーに対しての操作がボタン表示されます。操作できないボタンはグレースアウト(薄いグレー)表示になります。	
	詳細	ユーザープロパティの画面を表示し、ユーザー情報の変更を行うことができます。
	削除	ユーザーを削除します。
	ロック解除	ロックされているユーザーのロック解除を行います。

③ <詳細> ボタンをクリックすると、登録したユーザーの登録内容の確認、変更ができます。

ユーザープロパティ

Copyright(c) Orangesoft Inc. All rights reserved.

登録日時: 2016/06/17 12:45:48 登録者: admin@localhost
 最終更新日時: 2016/06/17 12:46:28 更新者:

基本情報

ログインID: op@localhost

パスワード: <省略するとパスワードは変更されません>

対象者へ通知する
 登録作業者(admin@localhost)へ通知する

タイプ: 利用者
 グループ運用者
 グループ管理者

SMTP認証ユーザー名:

SMTP認証パスワード: <省略するとパスワードは変更されません>

上長メールアドレス:

有効機能

グループ画面へのログイン
 上長メールアドレスを常時BCC追加
 ユーザー情報のルール評価利用
 上長メールアドレスへの保留通知送信

登録日時	ユーザーの登録日時が表示されます。
登録者	登録を行ったユーザーIDが表示されます。
最終更新日時	登録内容の最終更新日時が表示されます。
更新者	更新を行ったユーザーIDが表示されます。

グループ管理メニュー

●基本情報

ログイン ID	ユーザーのログイン ID が表示されます。(登録時、ログイン ID は ASCII 文字で定義したメールアドレス形式 256 文字以内で指定します。)
パスワード	パスワードの変更ができます。また、パスワード変更時に[対象者へ通知する]または[登録作業員(admin@localhost)へ通知する]にチェックを入れると、ログインパスワード通知メールが送信されます。パスワードを変更しないと、通知メールは送信されません。パスワードは、半角英数字および記号“_+=&%” が使用可能で 128 文字以内で設定します。
タイプ	ユーザーのタイプ(利用者・グループ運用者・グループ管理者)を選択します。
SMTP 認証ユーザー名	SMTP 認証に使用するユーザー名を 256 文字以内の ASCII 文字で設定します。
SMTP 認証パスワード	SMTP 認証にパスワードを 128 文字以内の ASCII 文字で設定します。
上長メールアドレス	ユーザーに紐づく上長メールアドレスを設定します。複数設定する場合は、改行し 1 行 1 メールアドレスで入力します。最大 10 アドレスまで設定できます。

●有効機能

グループ管理画面へのログイン	チェックを入れると、ユーザーに対してグループ管理画面へのログインが許可されます。
上長メールアドレスを常時 BCC 追加*1	チェックを入れると、配送される全てのメールでユーザーの上長メールアドレスに対して BCC 配送されます。(ブロックの場合は BCC 配送されません。 POINT BCC 配送されるメールは、ルール of 動作(暗号化やダウンロード URL 化)が適用されたメールではなく、ルール適用前の送信者が送信したメールになります。
ユーザー情報のルール評価利用*1	チェックを入れると、上長メールアドレスの有無を条件としたルールの評価対象になります。
上長メールアドレスへの保留通知送信*1	チェックを入れると、保留ルールのオプション[ユーザーの「上長メールアドレス」に保留通知を送る]の処理対象になります。

CAUTION

*1 の機能を利用する場合、予め基本情報の上長メールアドレスを設定しておく必要があります。

- ④ <削除> ボタンをクリックすると、選択したユーザーの削除ができます。
- ⑤ <ロック解除> ボタンをクリックすると、ユーザーのロック状態を解除することができます。

⑥ 1 ユーザーごとに登録を行います。

1

ユーザー一覧

Copyright(c) Orangesoft Inc. All rights reserved

入力された値と部分一致する電子メールアドレスのユーザーを検索します。
何も入力せずに検索すると全てのユーザーが検索されます。

検索メールアドレス:

マネージャーのみ ロック状態のみ

番号	電子メールアドレス	タイプ	ロック	機能	操作
検索する電子メールアドレスを入力して下さい。					

<新規登録>ボタンをクリックします。

2

ユーザープロパティ

Copyright(c) Orangesoft Inc. All rights reserved

基本情報

ログインID:
電子メールアドレスを入力して下さい。

パスワード:
 対象者へ通知する
 登録作業者(admin@localhost)へ通知する

タイプ: 利用者 マネージャー

SMTP認証ユーザー名:

SMTP認証パスワード:

上長メールアドレス:

有効機能

グループ画面へのログイン
 上長メールアドレスを常時BCC追加
 ユーザー情報のルール評価利用
 上長メールアドレスへの保留通知送信

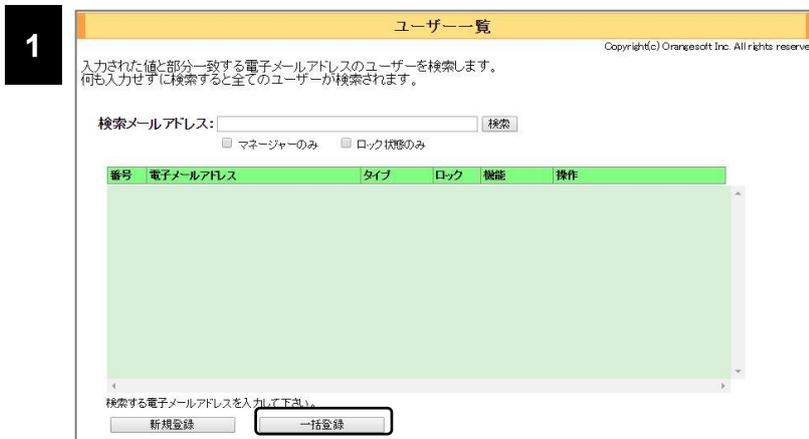
[ユーザープロパティ]画面が開いたら、各項目を設定し、<新規登録>ボタンをクリックします。

CAUTION

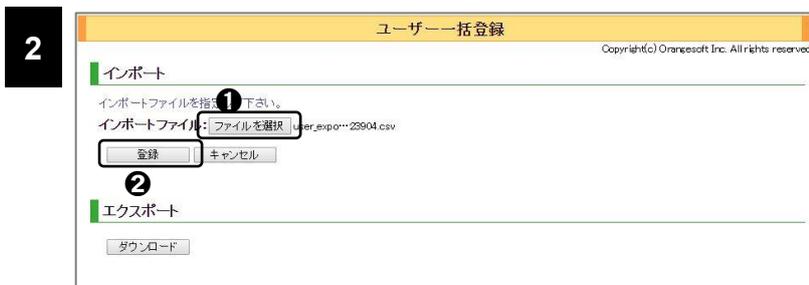
登録したパスワードを、登録後に画面上より参照することはできません。登録対象者に通知する必要がある場合などは、通知オプションを利用してください。また、登録したパスワードが分からなくなった場合は、パスワードを再設定してください。

⑦ ユーザー一括登録用 CSV ファイルのインポートによるユーザーの一括登録、CSV エクスポートを行います。

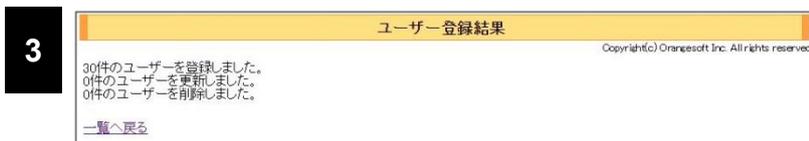
●ユーザーの一括登録・更新・削除 (Web 管理画面からの操作)



「一括登録」ボタンをクリックします。



[ユーザー一括登録]画面が表示されたら、①<ファイルを選択>ボタンをクリックし、インポート用の CSV ファイルを指定します。ファイルを選択後、②<登録>ボタンをクリックします。



登録完了後、登録結果画面が表示されます。

POINT

[一括登録]では、CSV ファイルの各行の処理種別に応じてユーザー情報の新規登録、更新、また削除を行うことができます。

グループ管理メニュー

● Web API 経由でのユーザーの一括登録・更新・削除

ユーザー一括登録用の CSV ファイルは、Web API を経由してインポートすることも可能です。Web API を活用することで、グループ管理画面へログインすることなく、ユーザー情報の登録、更新が可能になります。

【API 仕様】

プロトコル	http または https	
パス	/sa/g/{groupId}/api/import_user_csv.htm	
メソッド	POST	
認証方式	Basic 認証	
認証情報	グループ管理者の ID とパスワード	
アクセス制限	グループ管理画面アクセス制限と同じ	
MIME タイプ	multipart/form-data	
POST パラメーター	名前	値
	csvFile	ユーザー一括登録用 CSV ファイル
レスポンスコード	コード	意味
	200	全レコード登録成功
	400	不正なリクエスト
	401	認証が必要
	500	処理中の予期しないエラー
	530	CSV ファイルの書式エラー
	531	DB 接続エラー
	532	DB 更新エラー
レスポンスボディ	成功時	Success (Registered n users. Updated n users. Deleted n users.)
	失敗時	Failure (reason=s, line=n)
API 呼出例	(CURL コマンドを利用した例) #curl --trace-ascii - --basic --user 'grpadmin@localhost:grpadmin' -F 'csvFile=@userlist.csv' https://<safeattach_host>/sa/g/0a01/api/import_user_csv.htm	

CAUTION

WEB API の Basic 認証処理では認証失敗情報の更新を行いません。そのため、アカウントロックも発生しません。

グループ管理メニュー

● ユーザー一括登録用ファイル(CSV)

ユーザー一括登録用のファイルは、データをカンマで区切った CSV 形式ファイルです。

【CSV 仕様】

書式	RFC4180 準拠			
文字コード	ASCII			
最大レコード数	10,000			
列数	11			
列	#	項目	値	必須
	1	処理種別	“U” : 新規登録または更新(同アドレスが存在する場合は更新) “D” : 削除	○
	2	ログイン ID	メールアドレス形式	○
	3	パスワード	文字列	△ 新規登録 : 必須 (ただし、グループ管理画面へのログイン機能フラグが無効時の場合、省略可) 更新 : 省略の場合、未更新
	4	ユーザータイプフラグ	"0" : 利用者 "1" : グループ管理者 "2" : グループ運用者	△ 省略時は、利用者
	5	SMTP 認証ユーザー名	文字列	△ 新規登録 : 省略可(未登録) 更新 : 既存値または更新値どちらかの入力必須(省略の場合、設定値がクリア)
	6	SMTP 認証パスワード	文字列	△ 新規登録 : 省略可(未登録) 更新の場合 : 既存値または更新値どちらかの入力必須(省略の場合、設定値がクリア)
	7	上長メールアドレス	メールアドレス形式(上限 10 件) ※複数指定の場合、ダブルクォートで括って各アドレスをカンマ区切りで指定 (例: “test01@example.jp,test02@example.jp”)	△ 新規登録 : 省略可(未登録) 更新 : 既存値または更新値どちらかの入力必須(省略の場合、設定値がクリア)
	8	グループ管理画面へのログイン機能フラグ	"0" : 無効 "1" : 有効	△ 省略の場合、無効
	9	上長メールアドレスを常時 BCC 追加機能フラグ	"0" : 無効 "1" : 有効	△ 省略の場合、無効
	10	ユーザー情報のルール	"0" : 無効	△

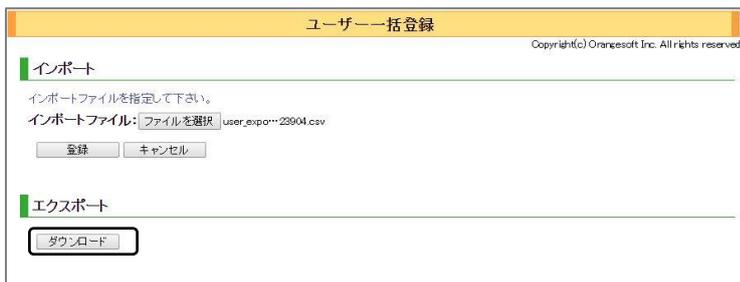
グループ管理メニュー

	評価利用機能フラグ	"1" : 有効	省略の場合、無効
11	上長メールアドレスへの 保留通知送信機能フラグ	"0" : 無効 "1" : 有効	△ 省略の場合、無効
入力例	U,tanaka@example.jp,password,1,tanaka@example.jp,authpass,mngr01@example.jp,1,1,1,1 U,satou@example.jp,,,,,"mngr01@example.jp,mngr02@example.jp",0,1,1,1 D,saburosuzuki@example.co.jp,,,,,,,,,		

POINT

処理種別が削除("D")の場合、ログイン ID 以外の項目は省略可能です。

●ユーザー一覧のエクスポート



[ユーザー一括登録]画面より
<ダウンロード>ボタンをクリックしま
す。
ユーザー一覧の CSV ファイル
(user_export_yyyymmddhhmmss.
csv) がダウンロードされます。